

道の駅グランテラス筑西 拡張整備

基本計画



令和 6 年 1 月

筑 西 市

— 目 次 —

1	基本計画の目的	1
2	与条件の整理	
2-1	拡張予定地の現況分析	1
2-2	導入機能及び施設規模の検討	2
3	施設配置計画・外構計画	
3-1	基本計画における配置計画	4
3-2	施設全体計画	5
3-3	造成計画	16
3-4	駐車場・駐輪場計画	18
3-5	遊具計画	21
3-6	道の駅との接続部計画	23
3-7	橋梁計画	24
3-8	調整池計画	25
3-9	拡張予定地外周道路・用排水路計画	27
3-10	周辺環境対策	30
4	概算工事費	32
5	事業スケジュール	33
6	策定経緯	34
7	参考資料	35
	アンケート調査結果（WEB・現地）	
	道の駅グランテラス筑西拡張整備推進委員会設置要綱	

1 基本計画の目的

本計画は、令和元年度に開業した道の駅グランテラス筑西（以下「道の駅」という。）における繁忙期の駐車場不足の解消や遊具施設の充実により、利用者の利便性向上と安全性の確保、新たな賑わいの創出を図るため、「駐車場」と「子どものあそび場」という2つの機能を備えた施設の整備を推進する基本方針について示すことを目的とします。

本計画を進めるにあたっては、「道の駅グランテラス筑西 拡張整備基本構想（令和5年6月）」で示された基本的な考え方に基づき、道の駅を中心に交流や賑わいが生まれる拠点づくりを目指すとともに、近隣住民への影響に配慮した施設計画となるよう、基本構想の理念を実現するための具体的な方策について示すものです。

2 与条件の整理

2-1 拡張予定地の現況分析

拡張予定地は道の駅の西側に隣接しており、北側は国道50号下館バイパスに、東側は市道下1B-287号線及び大排水路に面しています。拡張予定地内は田んぼが広がっており、その西側には住宅地が隣接するため、住宅地への騒音・プライバシー保護等への配慮が必要です。

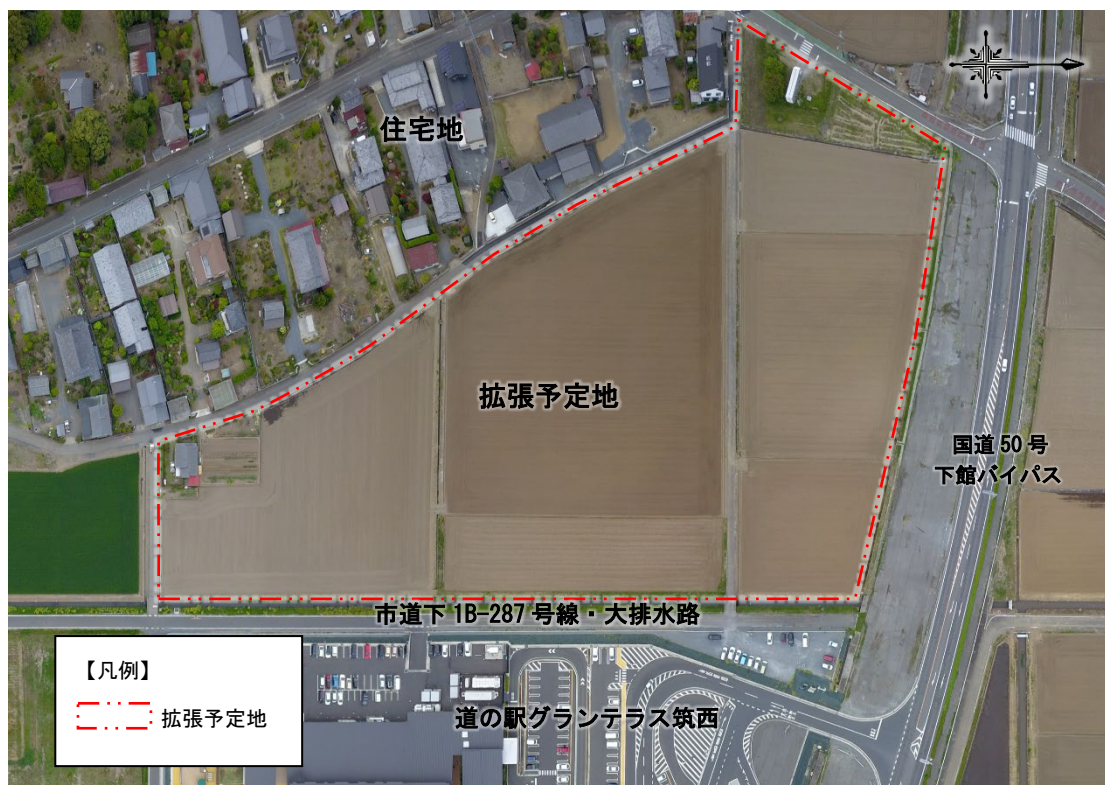


図 - 1 敷地現況図

2-2 導入機能及び施設規模の検討

利用者や地域のニーズに対応した施設整備を実現するために、「道の駅グランテラス筑西 拡張整備における新・遊具ひろば（仮称）に関するアンケート」をWEB及び現地にて実施しました。

（※「7 参考資料 アンケート調査結果（WEB・現地）」参照）

調査方法	実施期間	実施対象
①WEBアンケート	令和5年9月15日（金） ～ 令和5年10月3日（火）	WEBアンケート回答者 330名
②現地アンケート	令和5年9月24日（日）	道の駅にいらしたお子様連れの方 53名

アンケート結果の分析

Q：公園にはよく遊びに行きますか。（WEB アンケート・現地アンケート共）

公園に遊びに行く人が大多数。

（「あまり行かない」はWEB アンケートで22%、現地アンケートで4%）

→あそび場のニーズが高いことが分かります。

Q：お子さんの好きな遊びは何ですか。（WEB アンケート・現地アンケート共）

「投げる」「すべる」「よじのぼる」「ぶらさがる」「ゆれる」「さわる」がそれぞれほぼ均等に回答されている。

→様々な遊びを提供することが求められていることが分かります。

Q：インクルーシブという言葉はご存じですか。（WEB アンケート・現地アンケート共）

インクルーシブ：障がいの有無や年齢、性別、国籍などに関係なく、お互いの違いを認め合い、
全ての人がお互いの人権と尊厳を大事にすること

「いいえ」の回答が大多数。

（WEB アンケートで62%、現地アンケートで73%）

→インクルーシブという言葉の認知度が著しく低いことがわかります。

Q：「インクルーシブな遊具」を導入する場合、どのような遊具があるとよいですか。

（WEB アンケート・現地アンケート共）

インクルーシブな遊具：年齢・性別・文化・障がい・個性などを気にせず、あらゆる子どもが、
自分の力を発揮しながら、さまざまな友達と一緒に遊ぶことができる
遊具

「築山」「噴水」「飛び跳ねる・寝ころべる遊具」の回答が特に多い。

→高低差を利用した遊びや、水遊びができる場所が求められていることが分かります。

Q：公園などに行った際、利用しにくい・不便だと感じたことがありましたら、お聞かせください。(WEB アンケートのみ)

特にトイレに関すること（汚い、狭い、少ない、オムツを替えられない）と駐車場に関すること（狭い、遠い）が多く、日陰が少ない、遊具が少ないという意見も散見される。

→清潔でオムツ替えスペースのあるトイレを複数配置すること、あそび場近くに十分な台数の駐車場を整備すること、日陰となる場所を適切に整備すること、遊具の種類や数をできるだけ確保することなどが求められていることが分かります。

Q：「新・遊具ひろば」には、どのような遊具・設備があったらいいなと思いますか。(WEB アンケート、現地アンケート共)

トランポリン、水遊び、複合遊具、ボルダリング、ネット遊具、日陰、休憩場所など多岐にわたっている。

→特にトランポリン、ふわふわドームという意見が多く挙がっており、幼児が安心して遊べることを要望する意見も多く寄せられています。

Q：お子さんと遊びに行く先を決めるときのポイント、あると嬉しい設備等を教えてください。(現地アンケートのみ)

休憩スペースがあること、駐車場が広い・近くにあること、自動販売機や軽食等がとれる場所があること、木陰・屋根下空間があること、トイレ（キレイ、子ども用トイレなど）といった回答が多い。

→日陰の休憩スペースや清潔なトイレの整備が必要だということが分かります。

<アンケート結果を踏まえた対応方針は以下のとおり>

- ・あそび場のニーズが高く、様々な遊びを提供することが求められているため、遊び方が異なる複数の遊具を導入する方針とします。
- ・あったらよいと思う遊具にトランポリン、ふわふわドームという意見が多く挙げられたことを踏まえて、ふわふわドームを中心とした計画とします。
- ・幼児が安心して遊べることを要望する意見が多く寄せられたため、子どもの年齢に応じたゾーン分けにより、年齢の異なる子どもたちが安全に遊べるような遊具配置に配慮します。
- ・水遊びができる場所が求められているため、噴水広場やせせらぎの整備を検討します。
- ・トイレに関する不満が多いため、清潔でオムツ替えスペースのあるトイレを複数配置するようにします。
- ・駐車場に関する狭い、遠いという不満に対応するため、あそび場近くに十分な台数の駐車場を整備します。
- ・あると嬉しい設備として多数の意見が寄せられた、日陰の休憩スペースを十分に確保できる施設計画とします。

3 施設配置計画・外構計画
 3-1 基本計画における配置計画



図 - 2 配置計画図

3-2 施設全体計画

3-2-1 計画目的

既存道の駅の機能「休憩」「情報発信」「地域連携」に加え、「駐車場の拡張」「子どものあそび場の充実」を行うことで、より地域ニーズに即した、道の駅の利便性向上と安全性確保及び新たな賑わいの「場」の創出を目的とします。

各機能の整備目的を下記に示します。

①休憩

- ・本施設や既存道の駅の利用者だけでなく、周辺住民のやすらぎの場の創出
- ・地域の拠り所となる場の創出

②情報発信

- ・道の駅と連携した、本市の観光資源をはじめとした多様な情報発信

③地域連携

- ・地域のつながりや健康促進、多世代間交流推進の場の創出
- ・子どもから大人、身障者等、誰もが安心して利用できる場の創出
- ・余暇時間活用や、防災機能及び市民活動支援の場の創出

④駐車場の拡張

- ・既存道の駅の慢性的な駐車場不足の解消

⑤子どものあそび場の充実

- ・世代、目的に沿ったあそび場の創出
- ・出産・子育て世代の交流の場の創出

3-2-2 空間デザインコンセプト

この地域の特徴でもある、広々とした空に“ふわふわ浮かぶ雲”の下でみんなが自由に遊びまわる様子を空間デザインのコンセプトとして表現します。

3-2-3 計画施設基本方針

基本構想で示した基本方針の実現に努めるとともに、パブリックコメント等において市民から寄せられた意見等も考慮しながら計画します。

多世代の利用者が想定されるため、全ての人にとって利用しやすいデザイン（ユニバーサルデザイン）を基本とし、市民にとって長期に渡り親しみをもって利用していただくことを意図した計画とするとともに、災害時における防災設備等の導入も検討します。

施設の性質として多世代利用の施設となるため、各用途・機能の分析や利用想定を明確にし、各々の関係性に配慮した回遊性を高める施設配置計画を行います。

また、施設の長寿命化や維持管理費の低減を図るため、耐久性や更新性に優れた材料や方式の選定を行い、将来的に更新の必要が明らかな機器等に関しては、可能な限り特注品の選定を避けると共に、通常の維持管理も容易な計画とします。

3-2-4 動線計画

拡張部の南北にかけて、回遊性の高い「すじ雲コリドー」を設け、道の駅へとつながる回遊動線を設けます。

すじ雲コリドーを中心に「ふわふわパーク」「遊具広場」「芝生広場」「自転車のりば」へ子どもの遊びが自然につながる動線計画とすることで、子どもから大人まで、各々に自分達の好きな遊具や居場所を見つけてもらうことで、各場所での賑わいが自然に生まれるようにし、隣接する住宅地のプライバシー配慮としては緑の緩衝帯を設けます。行き交う人や緑との触れ合いが遊びへの意欲・好奇心を高め、様々な場所で色々な”遊びの輪”がつながり、道の駅から地域へ広がっていく新たな賑わいの場を創出するよう計画します。



図 - 3 動線計画図

3-2-5 各施設概要

① 駐車場

アンケート結果から「安全で利便性の高い駐車場」が求められていることから、通常の出入口は、道の駅駐車場からの1か所とし、十分な幅員を持たせることで安全で分かりやすい動線を確保します。また、配置の面では、あそび場から近い位置とし、台数・区画ともに余裕のある広さとすること、歩車分離を明確に行うことで、安心・安全なアプローチ計画を行います。さらに、非常時には迅速な入出庫や緊急車両の受け入れができるよう、緊急用出入口の設置も計画します。

【駐車場概要】

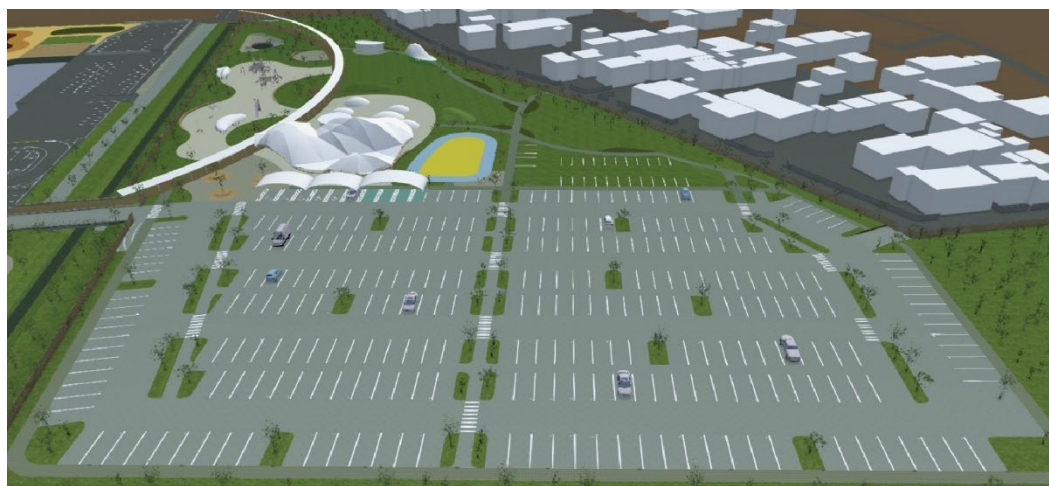
- 駐車台数 310 台（内 身障者駐車場 6 台、おもいやり駐車場 4 台）
- 駐車区画（一般車）：2.8m×6m
- 駐車区画（身障者・おもいやり）：3.5m×6m
- 駐車場車路幅：6.5m

【身障者・おもいやり駐車場】

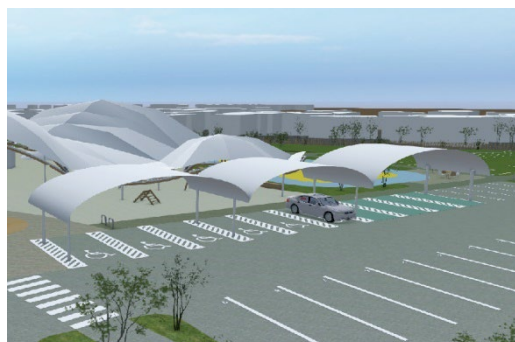
ふわふわパークや遊具広場等、主要施設から最も近い位置に、身障者や高齢者、妊産婦等が、天候に左右されず安心・安全に利用できる、屋根付き駐車スペースを設ける計画とします。

【駐車場屋根概要】

- 床面積：210 m² ■ 構造：鉄骨造 ■ 最大高さ：3.5m ■ 屋根：膜構造



北側俯瞰イメージ



身障者・おもいやり駐車場イメージ



駐車場内歩道イメージ

②ふわふわパーク

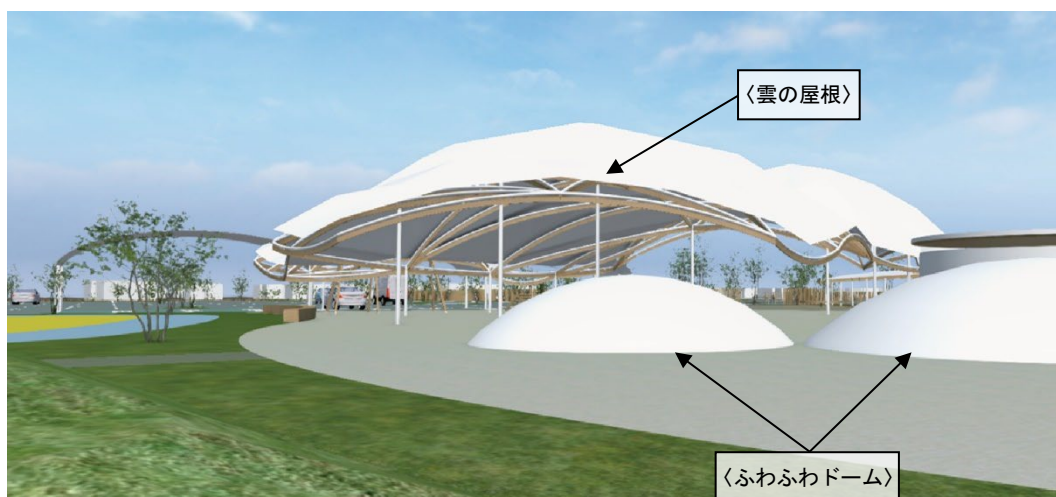
アンケート結果から「安心・安全性が高い多世代のあそび場」が求められていることから、日差しや雨を避けながら、子どもたちが安心・安全に遊び回ることが可能で、大人も子どもたちを見守りながら憩える場所として、膜構造物による屋根（雲の屋根）の下に、年齢層別にエリア分けした遊具を配置します。インクルーシブ遊具も導入することで、誰もが自由に遊び回ることが可能な屋根下空間を計画します。最もニーズの多かったふわふわドームは分散配置し、年齢層別に安心して遊べる計画とします。

【雲の屋根概要】

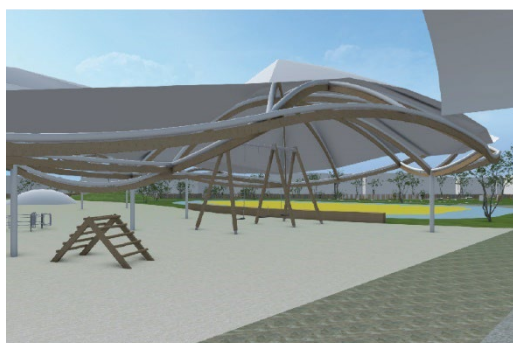
- 床面積 830 m²
- 構造 鉄骨造 最大高さ：6.8m
- 屋根 膜構造

【ふわふわドーム概要】

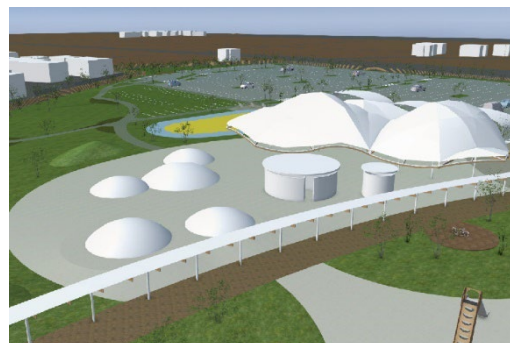
- 床面積 3山：170 m² 2山：140 m²
- 基礎 鉄筋コンクリート



ふわふわパーク南側イメージ



ふわふわパーク内イメージ



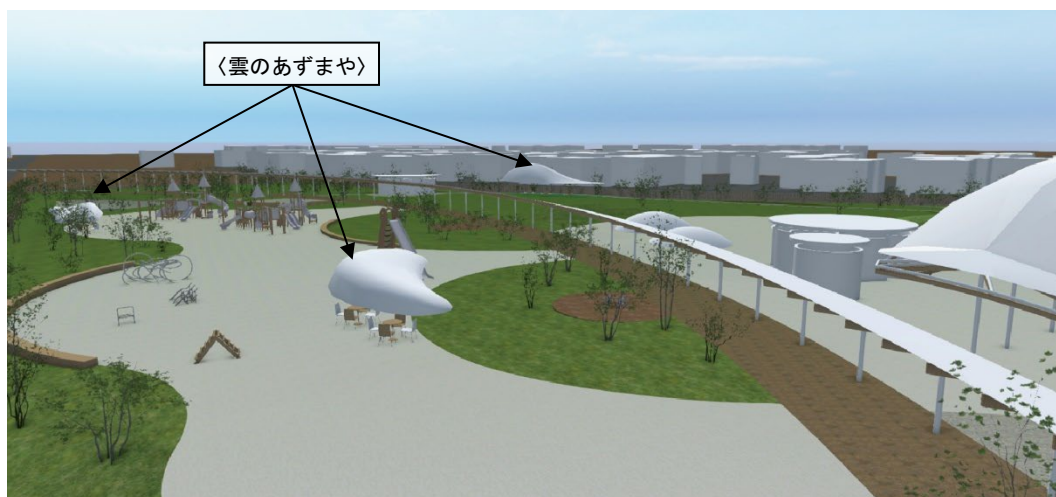
ふわふわパーク東側俯瞰イメージ

③雲のあずまや

アンケート結果から「日陰の休憩スペース」が求められていることから、利用者が気軽に休憩できる日影のスペースとして、コンセプトに合わせて雲をイメージしたあずまや「雲のあずまや」を公園内の散策路に沿って分散配置します。大人は各広場で遊びまわる子どもたちを見守りながら、ゆっくりくつろぐことが可能で、地域住民の憩いスペースとして機能します。

【雲のあずまや概要】

- 床面積 30 m² × 3 か所
- 構造 鉄骨造 最大高さ：3.5m
- 屋根 膜構造



遊具広場北側俯瞰イメージ



遊具広場北側イメージ



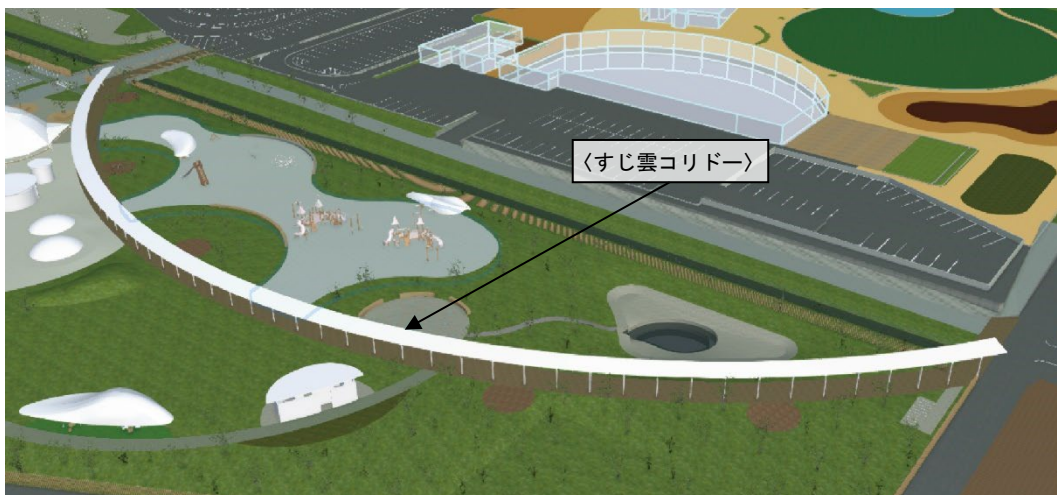
雲のあずまや西側イメージ

④すじ雲コリドー

拡張予定地と道の駅が連携し、相乗効果を高めていけるように、屋根付き歩廊「すじ雲コリドー」で、道の駅の主動線とサークル上に繋ぎ、全体の回遊性を高める動線計画とします。

【すじ雲コリドー概要】

- 床面積 480 m²
- 構造 鉄骨造 最大高さ：3.1m
- 屋根 膜構造
- 機能 歩廊



すじ雲コリドー西側俯瞰イメージ



すじ雲コリドー南側イメージ



すじ雲コリドー北側イメージ

⑤トイレ

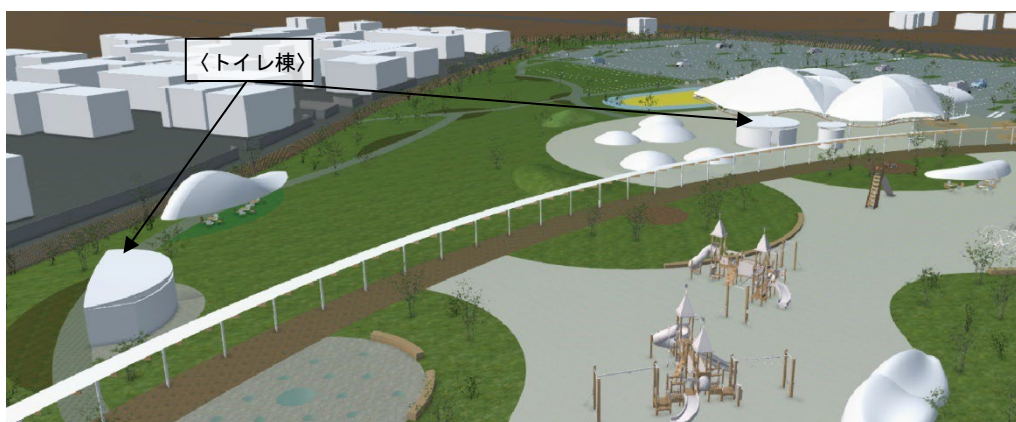
アンケート結果から「清潔で多機能なトイレ」と「トイレ数の増加」が求められていることから以下のとおりに計画します。

「都市公園におけるトイレの実態調査（平成6年 建設省公園緑地課）」によると、トイレの設置基数は、公園規模ごとに異なり、地区公園では1公園あたり平均2.3棟となっています。

種 別		公 園 数 [箇所]	トイレ棟数 [棟]	1公園当り 棟数 [棟]
住区基幹公園	街区公園	18,741	17,259	0.9
	近隣公園	3,302	4,599	1.4
	地区公園	1,014	2,295	2.3
都市基幹公園	総合公園	857	3,856	4.5
	運動公園	581	3,083	5.3
広域公園		144	1,569	10.9
緩衝緑地等		1,722	3,537	2.1
合 計		2,631	36,198	1.4

表 - 1 都市公園トイレの実態調査（平成6年 建設省公園緑地課）

本拡張予定地では利便性を考慮し、2か所配置する計画とします。多機能トイレを設置し、授乳・おむつ替えスペースの検討を行います。各ブースは広めのスペースを確保し、清潔を保ちやすいデザインとすることで、誰もが安心して利用できる計画とします。



トイレ俯瞰イメージ

トイレの規模については、下記のとおり整備する計画とします。

〈北側トイレ規模（1棟）〉

- ・男子：小便器3 大便器2 手洗い2
- ・女子：大便器4 手洗い2
- ・多機能トイレ：大便器1 簡易オストメイト1 手洗い1
- ・その他：掃除用具庫 掃除用流し1

〈南側トイレ規模（1棟）〉

- ・男子：小便器2 大便器1 手洗い1
- ・女子：大便器2 手洗い1
- ・多機能トイレ：大便器1 簡易オストメイト1 手洗い1

アンケート結果から求められている「様々なあそび場」を以下のとおり計画します。

⑥遊具広場

年齢層（児童、幼児、乳幼児）ごとや、グループ、性格ごとに、自分に合った遊具で自由に遊べるようにゾーンを分け、様々な遊具を配置する計画とします。



遊具広場イメージ



出典：TSUTAYA BOOKSTORE
常総インターチェンジ



遊具広場イメージ

⑦健康遊具

すじ雲コリドーを回遊しながら健康運動ができるように点在配置し、公園全体が地域の健康活動促進の場として機能するようにします。



健康遊具イメージ



健康遊具イメージ



健康遊具イメージ

⑧芝生広場

現況の高低差を利用したなだらかな芝生広場とし、築山を設ける等、誰もががくつろぎ、ゆっくりと時間をすごせる憩いの場として計画します。周囲に花壇を配置した開放的な空間とし、稲荷宿集落との緩衝帯や周辺景観の維持に寄与します。



芝生広場イメージ



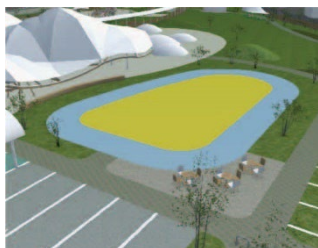
出典：町田薬師池公園



出典：国営昭和記念公園

⑨自転車のりば

駐車場に面して子どもが安全に自転車の練習をできる広場を配置します。



自転車のりばイメージ



自転車のりばイメージ



自転車のりばイメージ

⑩調整池

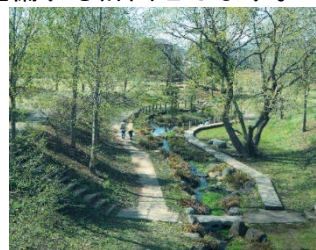
雨水を一時的に貯留し洪水を防ぐ調整池を整備する計画とします。



調整池イメージ



出典：柏の葉イノベーションキャンパス



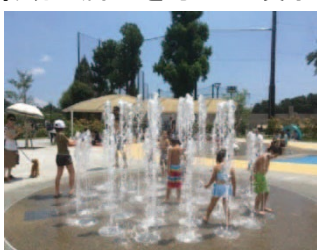
出典：豊里の杜

⑪噴水広場

水遊びの場となり景観に潤いを与える噴水を整備する計画とします。



噴水広場イメージ



出典：秦野市中央運動公園
(まちの子育て情報サイトコドモト)



出典：グリーンスプリングス

施設規模一覧表

	規模	備考
①駐車場	10,887㎡	駐車台数 310台
②ふわふわパーク	1,793㎡	雲の屋根 床面積830㎡ ふわふわドーム 3山 2山
③雲のあずまや	90㎡	膜構造鉄骨造 床面積 30㎡×3か所
④すじ雲コリドー	772㎡	膜構造鉄骨造 床面積 480㎡
⑤トイレ	150㎡	メインとサブ 2か所 100㎡ 50㎡
⑥遊具広場	1,539㎡	
⑦健康遊具	126㎡	
⑧芝生広場	2,020㎡	
⑨自転車のりば	801㎡	
⑩調整池	594㎡	
⑪噴水広場	142㎡	

各エリアの面積割合は以下の図に示すとおりです。



図 - 4 面積割合図

各施設の配置方針及び概要は以下の図に示すとおりです。

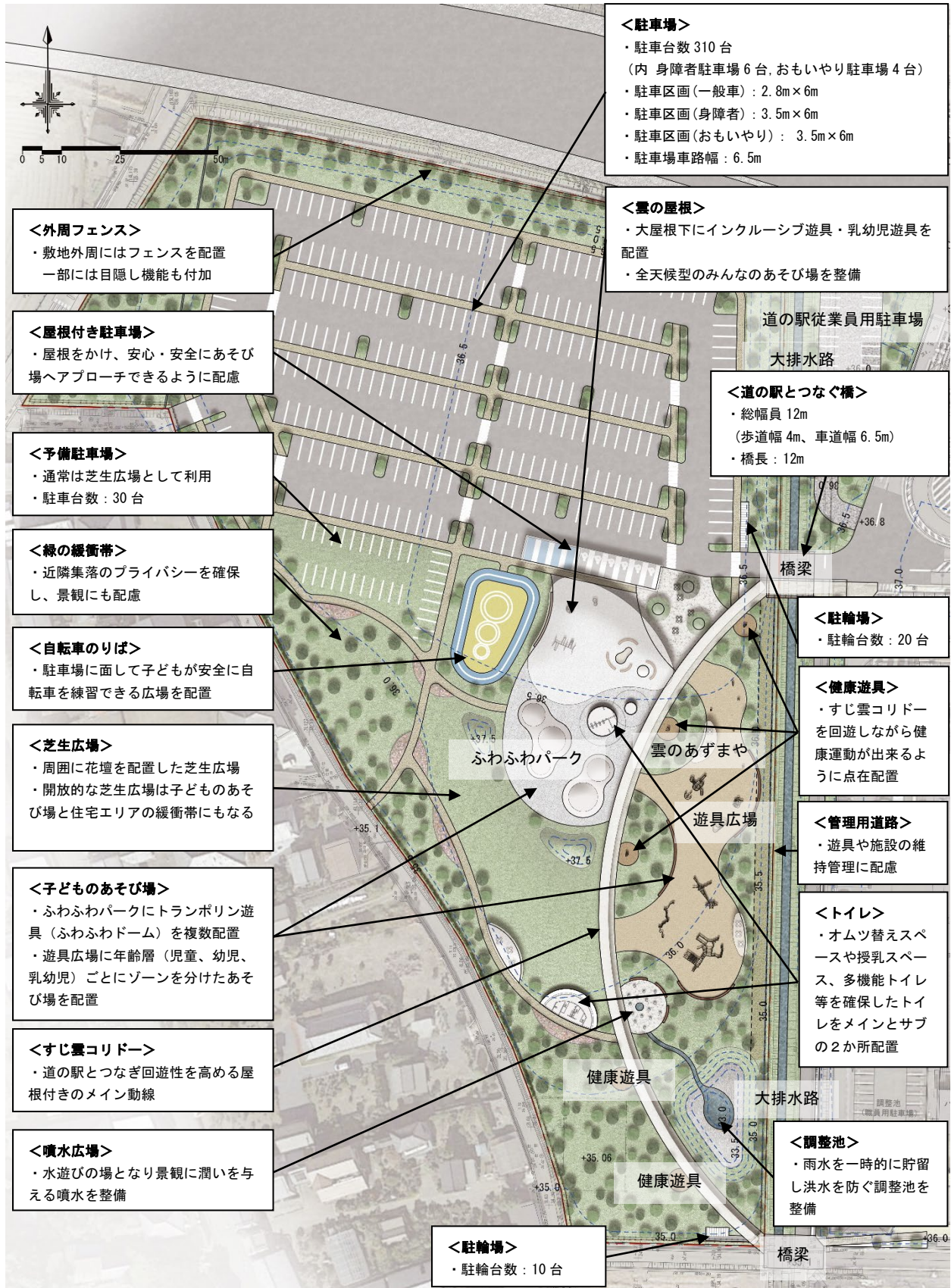


図 - 5 配置計画方針図

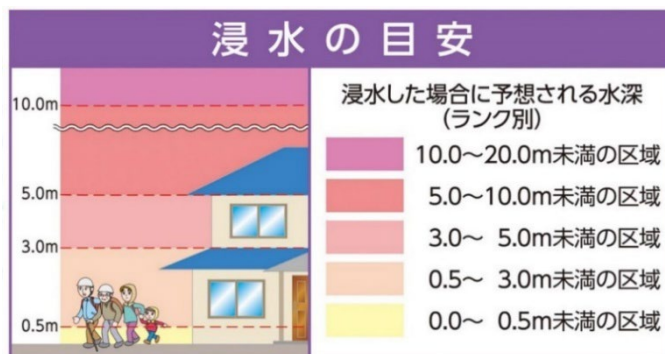
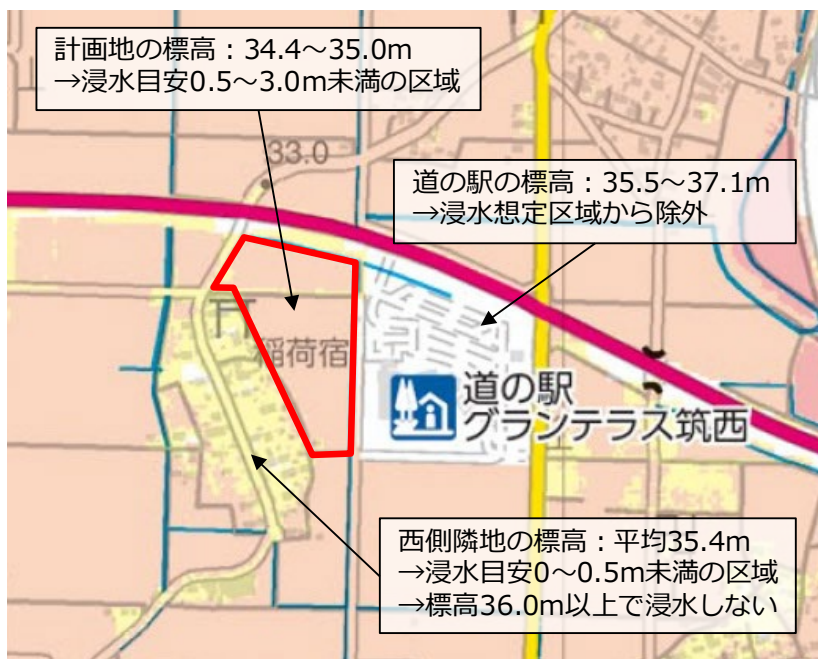
3-3 造成計画

拡張予定地の標高は 34.4～35.0m 程度であり、筑西市洪水ハザードマップ（令和 2 年 8 月改訂版）では浸水想定 0.5～3.0m 未満の区域です。また、西側稲荷宿集落の平均標高は平均 35.4m で浸水想定 0～0.5m 未満の区域、既存道の駅は標高が 35.5～37.1m で浸水想定区域から除外されています。

以上から浸水想定区域から除外されるためには標高 36.0m 以上まで盛土する必要があります。

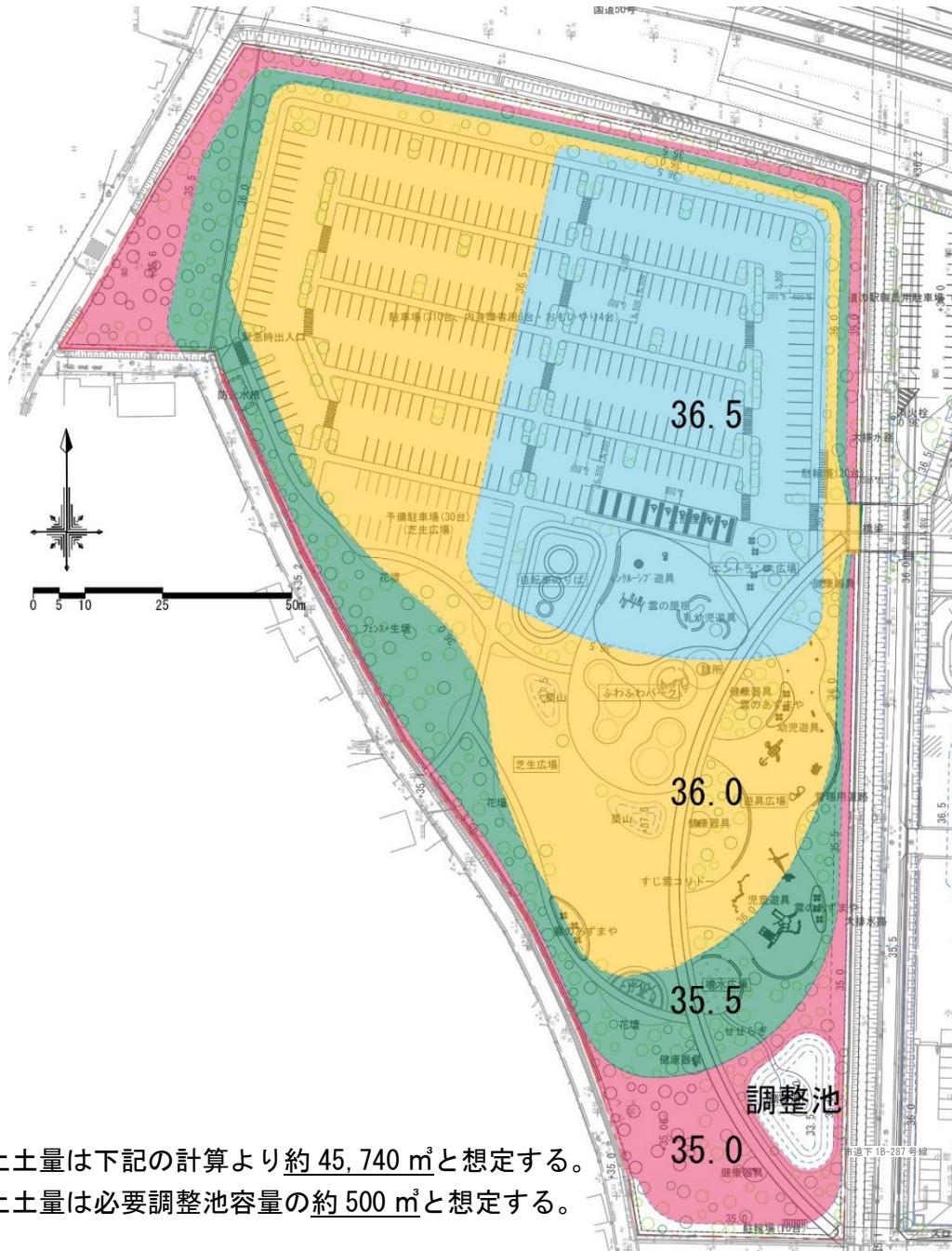
一方で、拡張予定地全面において標高 36.0m まで盛土すると、莫大なコストがかかるとともに、盛土斜面との高低差が平均 1.5m となり、近隣に対して圧迫感を与える恐れがあります。

このため標高 36.0m までの盛土は敷地北側に限定し、北側エリアに利用者が集まる駐車場やトイレ、休憩施設、遊びゾーンを配置する計画とします。



出典：筑西市洪水ハザードマップ（北部版）2020年8月改定版

計画地盤高を示した造成計画方針は以下の図に示すとおりです。



盛土土量は下記の計算より約 $45,740 \text{ m}^3$ と想定する。
 切土土量は必要調整池容量の約 500 m^3 と想定する。

図 - 6 造成計画方針図

※現況地盤高を34.5mに設定

計画地盤高	面積(m ²)	現況地盤からの盛土高さ (m)	盛土土量(m ³)
35.0	31,156	0.5	15,578
35.5	26,942	1.0	13,471
36.0	22,583	1.5	11,292
36.5	10,799	2.0	5,400
合計			45,740

3-4 駐車場・駐輪場計画

①施設規模算定対象

施設規模の算定にあたっては、拡張予定地の利用可能面積 約 3.2ha を対象とします。

②最大時在園者数

国土交通省（平成 13 年以前は建設省）は昭和 41 年から 5～6 年ごとに「都市公園利用実態調査」を行い、都市公園の利用実態を利用者数調査及びアンケート調査により把握しています。本計画では、同調査のうち最新の令和 3 年度の下記のデータを基に需要予測の基礎数値として採用します。

拡張予定地の利用可能面積は約 3.2ha であるため、面積が最も近い「地区公園」の調査結果より、最大時在園者数を休日の 60 人/ha とします。

以上から、拡張予定地の最大時在園者数を 60 人/ha × 3.2ha = 192 人 とします。

	利用可能面積 (ha)	最大時在園者数 (人)		ha 当たり最大時在園者数 (人/ha)		最大時 1 人当たり占有面積 (㎡/人)		
		平日	休日	平日	休日	平日	休日	
街区公園	51年	0.266	63	78	237	293	42	34
	57年	0.215	42	50	195	233	51	43
	63年	0.226	24	28	106	124	94	81
	6年	0.240	29	38	121	158	83	63
	13年	0.274	20	16	73	58	137	171
	19年	0.286	15	25	54	87	187	115
	26年	0.285	26	30	93	106	108	94
	3年	0.296	23	21	77	72	130	139
近隣公園	51年	1.040	129	183	124	176	81	57
	57年	1.140	104	201	91	176	110	57
	63年	1.252	104	135	83	108	120	93
	6年	1.170	114	168	97	144	103	70
	13年	1.369	51	70	37	51	268	196
	19年	1.392	45	63	33	45	307	222
	26年	1.416	77	124	54	88	184	114
	3年	1.892	79	84	42	44	240	226
地区公園	51年	2.377	104	226	44	95	229	105
	57年	2.669	124	650	46	244	215	41
	63年	3.257	200	254	61	78	163	128
	6年	2.580	158	261	61	101	163	99
	13年	3.424	171	121	50	35	200	283
	19年	3.474	87	183	25	53	398	190
	26年	3.610	141	198	39	55	256	182
	3年	3.404	84	206	25	60	405	166

表 - 2 : 公園種別ごとの最大時在園者数と経年変化
(出典 : 令和 3 年度 都市公園利用実態調査報告書)

③交通手段

次に、来園者のうち自動車で来園する数を算出するため自動車利用率を求めます。令和3年度 都市公園利用実態調査における「地区公園」の交通手段比率は下記のとおりです。

単位：%

	徒歩	自転車	バイク	自動車	バス、電車等の公共交通	貸切バス	その他	無効	無回答	回答数(票)
街区公園	55.6	23.6	0.4	16.5	3.1	0.0	0.3	0.3	0.1	992
近隣公園	44.7	17.6	0.8	28.9	5.9	0.0	0.5	1.1	0.5	2,700
地区公園	36.3	14.2	1.4	42.4	4.1	0.3	0.1	0.6	0.6	3,622
運動公園	20.6	11.4	1.7	59.4	5.0	0.3	0.2	0.9	0.3	8,035
総合公園	22.6	9.6	1.1	59.8	5.1	0.1	0.3	0.8	0.5	12,530
広域公園	9.1	7.3	0.8	75.9	5.5	0.2	0.2	0.6	0.5	7,347
国営公園	3.2	4.3	0.5	83.4	6.9	0.7	0.6	0.4	0.1	6,297
全体	20.3	10.0	1.1	61.6	5.3	0.3	0.3	0.7	0.4	41,523

表 - 3 : 交通手段比率 (令和3年度 都市公園利用実態調査報告書)

自動車の利用率は42.4%、自転車の利用率は14.2%となっていますが、道の駅に隣接している立地条件などを鑑みると、本拡張予定地の自動車利用率はより一層多いと想定されることから総合公園並みの60%に設定することが適切であると考えられます。

④駐車場規模等の検討

駐車場規模は、最大時在園者数×自動車利用率÷同乗者数により計算します。

同乗者数は一般的には2.5人/台ですが、道の駅に隣接しており、公共交通機関でのアクセスが困難であることを考慮し2.0人/台に設定します。

以上より、192人(最大時在園者数)×60%(自動車利用率)÷2.0人/台(同乗者数)=57.6台となり、本拡張予定地に必要な駐車場台数を58台とします。

加えて、道の駅の駐車場不足分251台を拡張予定地内に確保するため、251+58=309→310台程度の駐車場を整備する計画とします。

身障者用駐車施設の設置数は、「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン(令和4年3月、国土交通省)」に示された「当該駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上」という基準から、310台(駐車台数)×1/100+2=5.1台→6台を確保し、併せて、妊産婦や高齢者等が利用できるおもいやり駐車場を4台確保する計画とします。

駐車区画は「道の駅グランテラス筑西 拡張整備基本構想(令和5年6月)」で整理されたとおり2.8m×6mとします。身障者用駐車施設及びおもいやり駐車施設の駐車区画は、「都市公園移動等円滑化基準」を踏まえ3.5m×6mとします。

車路の幅員は、下記の「駐車場設計・施工指針（改正平成6年9月28日 建設省）」を踏まえ、駐車場内に歩行者用通路を整備した上で、6.5mに設定します。

[単位：m]

設計対象車両	幅員		幅員	
	歩行者用通路 なし	歩行者用通路 あり	歩行者用通路 なし	歩行者用通路 あり
軽自動車	7.0	6.5	5.5	5.5 (対面通行)
小型乗用車		5.0 (一方通行)		
普通乗用車		6.0		
小型貨物車	7.5	7.0	6.5	6.0
大型貨物車およびバス	13.0	12.5	11.5	11.0

表 - 4 車室に面した車路の幅員 (※車室：駐車区画)

さらに、本拡張予定地では、道の駅でのイベント開催時等の混雑時に駐車場として利用可能な予備駐車場を確保するため、駐車場に隣接して30台程度の駐車が可能な芝生広場を整備する計画とします。

<駐車場必要台数等>

- ・ 駐車場台数：310台（内身障者用・おもいやり駐車施設10台）
- ・ 駐車区画：2.8m×6m
- ・ 駐車区画（身障者用・おもいやり駐車施設）：3.5m×6m
- ・ 駐車場車路幅：6.5m
- ・ イベント時利用可能な予備駐車場（芝生広場）：30台程度

⑤駐輪場規模の検討

駐輪場規模は、192人（最大時在園者数）×14.2%（自転車利用率）＝27.3台となることから、本拡張予定地では30台程度確保する計画とします。

<駐輪場必要台数等>

- ・ 30台程度

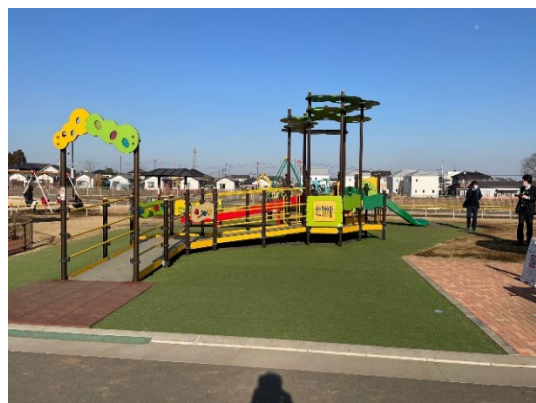
3-5 遊具計画

3-5-1 計画方針

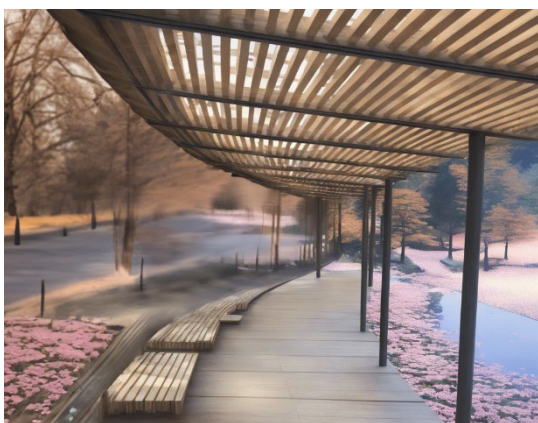
- ・アンケートでも人気のあった「ふわふわドーム」を中心に、遊び方の異なる様々な遊具も導入することで、一日中飽きずに遊べるようにします。
- ・子どもの年齢に応じたゾーン分けにより、年齢の異なる子どもたちの衝突を防ぎ安全性を確保します。
- ・障がいのある人が、健常者と同じ遊具で遊べるインクルーシブな遊具を導入します。
- ・屋根下空間をつくり、炎天下や雨天時でも遊べるような場所を用意します。
- ・循環型社会の構築や地球温暖化防止の観点から、積極的に県産材の利用を図ります。
- ・アンケートで要望が多い水遊びができる噴水広場やせせらぎを整備します。
- ・来訪者や地域住民の健康増進に寄与できるように、子どもだけでなく大人も利用できる健康遊具を各所に分散して配置します。
- ・その他、遊具メーカーの提案による大型遊具等も整備する計画とします。



ふわふわドーム
(出典：太陽工業株式会社)



車いすでも利用できるインクルーシブな遊具
(出典：笠間中央公園)



木材を使用した建築のイメージ



健康遊具のイメージ

3-5-2 配置方針

「ふわふわパーク」と「遊具広場」の2つのエリアで構成する計画とします。

①ふわふわパーク

複数のふわふわドームを中心としたエリア周辺を「ふわふわパーク」として位置付けます。

ふわふわパークには、日陰をつくり雨天時でも遊べるように広い範囲で「雲の屋根」を架ける計画とします。「雲の屋根」の下の駐車場に隣接した箇所に、車いすでも利用できるインクルーシブな遊具を配置したゾーンや乳幼児ゾーン（1～3歳）を計画します。

②遊具広場

すじ雲コリドーの東側に、様々な遊具を配置した遊具広場を配置する計画とします。大きく2つのゾーンに分け、大型複合遊具やウォール遊具、ブランコ等のある児童ゾーン（6～12歳）と、小型複合遊具やロッキング遊具等のある幼児ゾーン（3～6歳）を配置する計画とします。

また、子どもたちを見守る休憩施設として「雲のあずまや」を周囲に配置する計画とします。

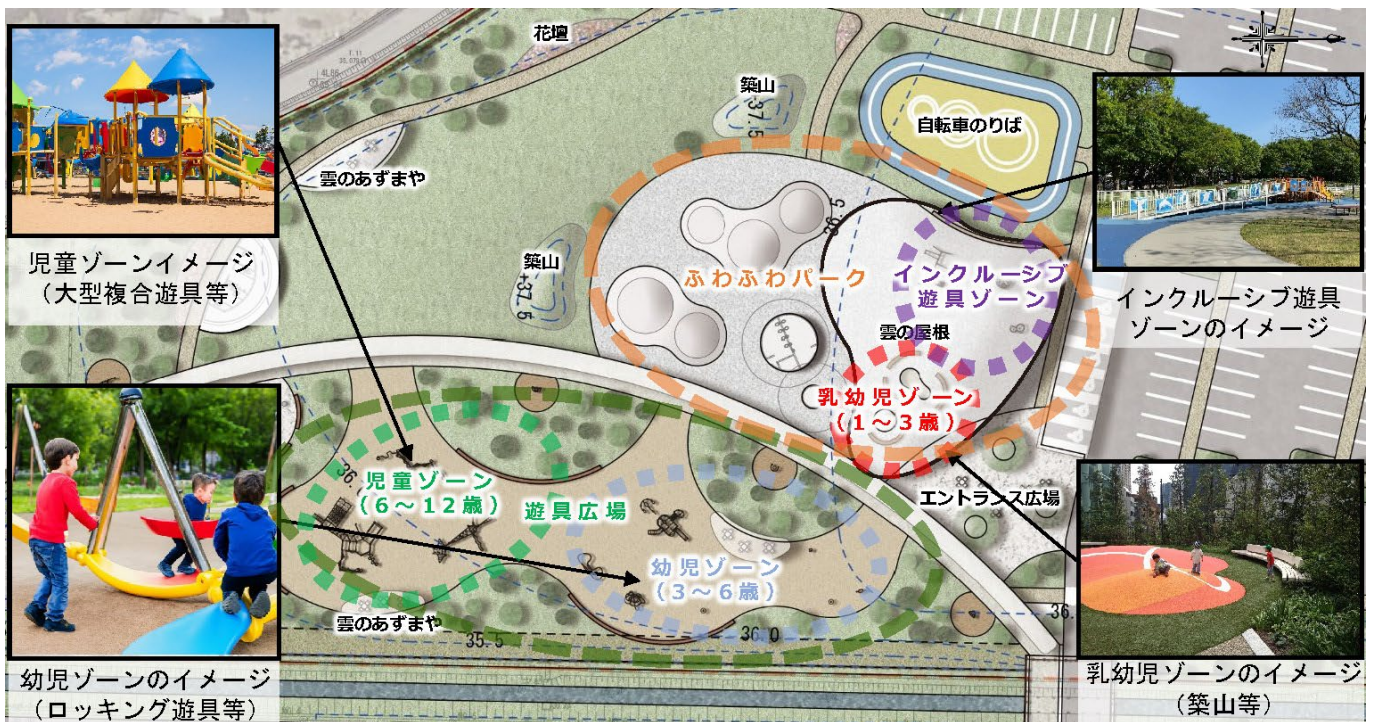


図-7 遊具の基本計画図

3-6 道の駅との接続部計画

① 駐車場出入口

駐車場の出入口は道の駅の駐車場からアクセスすることを前提とします。国道50号から入る車両の滞留長をできるだけ長くするため、接続部は国道から最大限離れた位置に計画します。

② 橋梁

駐車場への車両アクセスは大排水路を横断する必要があるため、接続部には橋梁を整備します。コスト面に配慮して橋梁は1か所として、すじ雲コリドーにつながる歩行者動線も併設します。

③ 市道下 1B-287号線

道の駅と拡張予定地間の道路は、道の駅の搬入口へのアクセスを目的とした関係者用道路とします。

④ スロープ

歩行者の道の駅へのアクセスとして、すじ雲コリドー南側から道の駅南西角へのスロープを計画します。

⑤ 道の駅従業員用駐車場（再整備）

道の駅北西部の既存従業員用駐車場は、道の駅駐車場からアクセスできるようにし、道の駅の一般駐車場と差別化及び排水計画の観点から、砂利敷きを計画します。

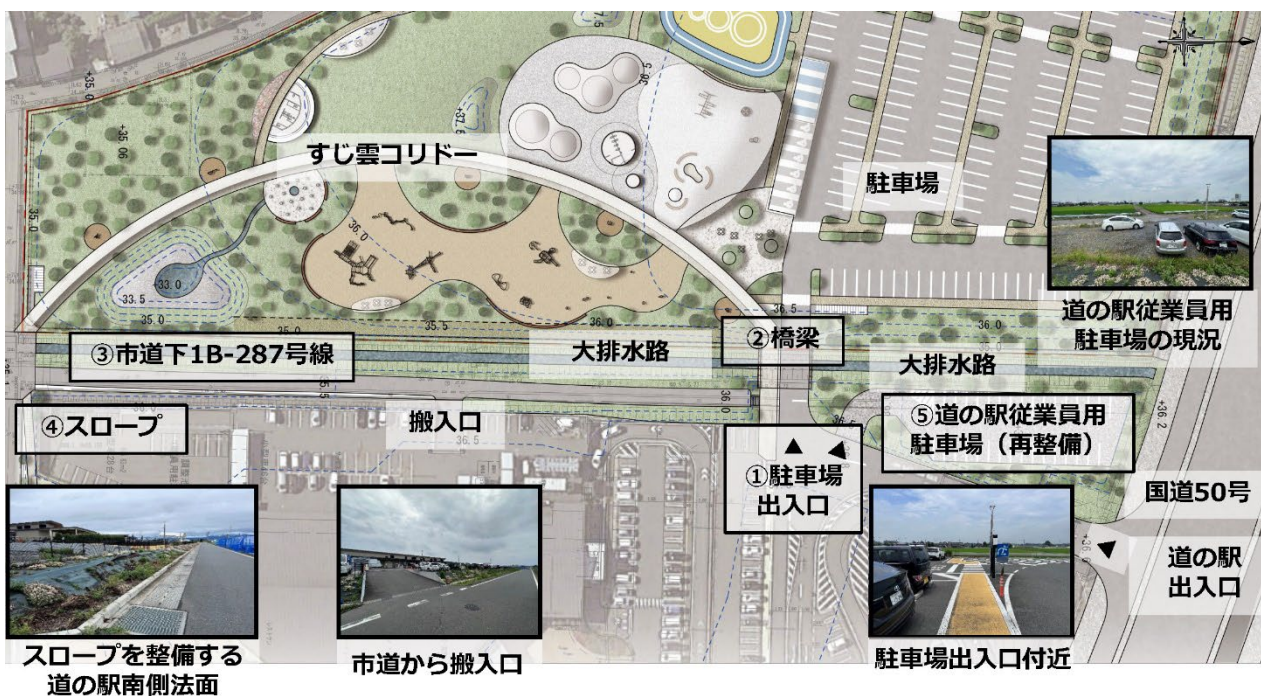


図 - 8 道の駅との接続部計画図

3-7 橋梁計画

道の駅と接続する橋梁は、歩行者の安全性を確保するため歩車道境界には歩車分離施設等を配置し、歩車を明確に分離する計画とします。

経済性に配慮して既製品のPCコンクリート桁を採用しますが、景観的に重要な場所であるため、高欄や側面仕上げ等は基本設計・実施設計で意匠検討を行う必要があります。

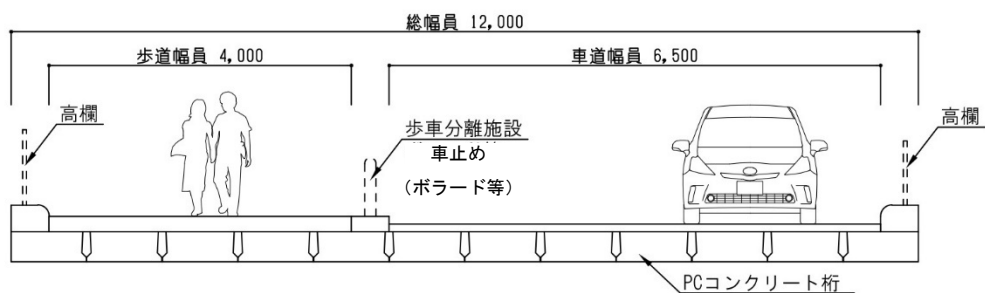


図 - 9 橋梁断面図

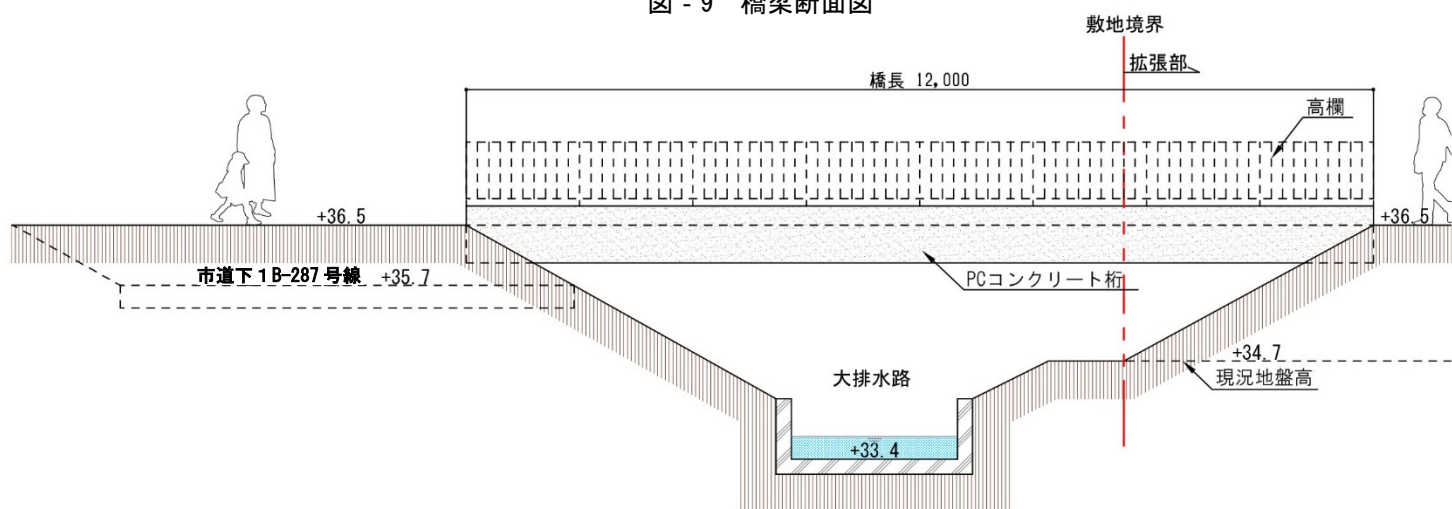


図 - 10 橋梁側面図

3-8 調整池計画

調整池は必要な容量を確保しつつ、池底を掘り込み常時水が溜まる池を整備する計画とします。

また、調整池に隣接して子どもたちの水遊びの場となり景観に潤いを与える噴水広場を整備し、噴水は舗装面から直接吹き上がるポップアップ型とすることで噴水を止めると広場の一部として利用できるようにします。

噴水広場から池までは緩やかなせせらぎでつなぎ、ポンプで水を循環させるシステムを計画します。

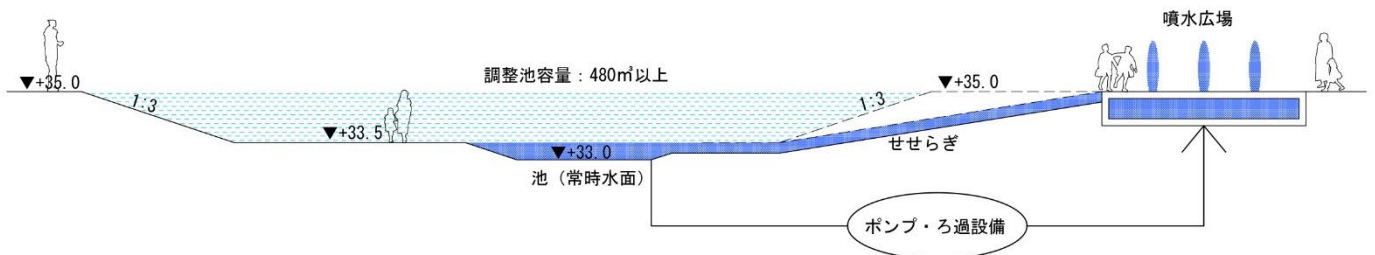


図 - 11 調整池断面模式図



調整池のイメージ（池底を掘り込み常時水面を整備）
（出典：柏の葉イノベーションキャンパス「アクアテラス」）



噴水広場のイメージ
（出典：ソラマチひろば）



せせらぎのイメージ
（出典：虎ノ門ヒルズ）

調整池の容量計算(簡易法による)

① 計算条件

・集水面積	A =	3.2	(ha) =	32,000	(m ²)
・流出係数	f =	0.85			
・下流許容放流量	Q _c =	0.405	(m ³ /s)		
・降雨強度式係数	a =	769.00			
	b =	2.770			
	n =	0.667			

$$r = \frac{a}{t^n + b}$$

下流の許容放流量の計算

$$\text{流達時間 } t = 7 + (0.83 \times 0.37) / 0.002^{0.6} = 20 \text{ (分)}$$

$$r = 769 / 20^{0.667} + 2.77 = 76 \text{ mm/h}$$

$$Q_c = 0.6 \times 76 \times 3.2 / 360 = 0.405 \text{ m}^3/\text{s}$$

② 必要調整容量の計算式

調整池の必要容量は次式(簡易式)により求める。

$$V = \left(r_i - \frac{r_c}{2} \right) \times 60 \times t_i \times f \times A \times \frac{1}{360}$$

出典: 防災調節池等技術基準(案)解説と設計実例(河川協会)

ここに、 V : 必要調整容量 (m³)

f : 流出係数

A : 流域面積 (ha)

r_c : 放流能力(Q_c)に対応する降雨強度 (mm/hr)

$$r_c = 360 \times Q_c / (f \times A)$$

r_i : 降雨の継続時間 t_i に対応する降雨強度 (mm/hr)

$$r_i = a / (t_i^n + b)$$

t_i : 降雨の継続時間 (min)

③ 放流能力(Q_c)に対応する降雨強度

$$r_c = 360 \times Q_c / (f \times A) = 53.603 \text{ (mm/hr)}$$

④ 必要調節容量が最大となる降雨の継続時間

$$t_i = \left\{ \frac{a \times (1-n) - b \times r_c + \sqrt{(1-n)^2 \times a^2 + 2 \times n \times a \times b \times r_c}}{r_c} \right\}^{1/n}$$

$$t_i = 35 \text{ (min)}$$

⑤ 降雨の継続時間 t_i に対応する降雨強度

$$r_i = \frac{a}{t_i^n + b} = 57.0 \text{ (mm/hr)}$$

⑥ 必要調節容量

$$V = \left(r_i - \frac{r_c}{2} \right) \times 60 \times t_i \times f \times A \times \frac{1}{360} = 480 \text{ (m}^3\text{)}$$

⑦ 推積土砂量

$$V_b = 1.5 \text{ m}^3/\text{ha}/\text{年} = 1.5 \times 3.2 = 4.8 \text{ m}^3$$

⑧ 全調整池容量 V = 480 + 4.8 = 485 m³

平均水深を H = 1.5 m と仮定した場合の調整池の必要面積

$$A = 485 / 1.5 = 323 \text{ m}^2$$

3-9 拡張予定地外周道路・用排水路計画

3-9-1 拡張予定地外周道路

拡張予定地西側の市道下 1B-217 号線と南側の市道下 1B-140 号線の外周道路については、拡張整備に合わせ、車道部の幅員を 4.00m、路肩部を両側合計で 1.80m 確保し、現道幅員約 4.20m から 5.80m に拡幅する計画とします。

横断勾配は、「筑西市道の移動円滑化に関する基準を定める条例」を基に、近隣住民の安全性と利便性に配慮した計画とします。

排水については両側に蓋つきの U 型側溝を設け、住宅地側は道路排水を、拡張予定地側は道路排水と農業用排水を受け入れられる通水断面を確保します。

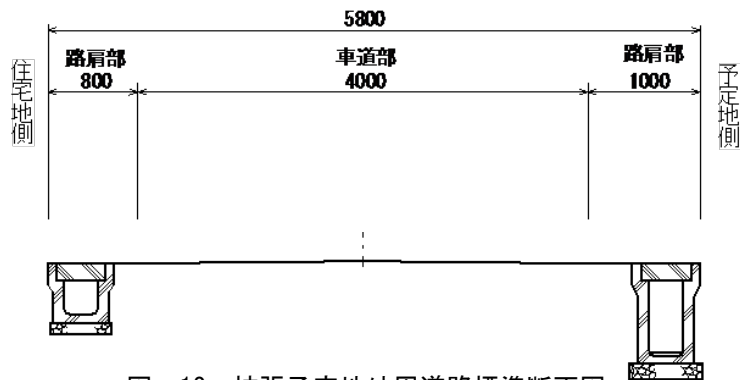


図 - 12 拡張予定地外周道路標準断面図

3-9-2 用排水路計画

市道下 1B-287 号線に並行して流れる大排水路の法面については法面保護と維持管理の観点から既存法面に防草対策を講じます。市道下 1B-287 号線と市道下 1B-140 号線が交差する「すじ雲コリドー」の終点の橋梁については市道下 1B-140 号線の幅員が拡幅されることで既存橋梁を撤去し、架け替えにあたっては、経済性・安全性・景観・施工難易度などを考慮した工法を検討します。



図 - 13 大排水路整備断面図

拡張予定地外周道路及び用排水路計画方針は以下の図に示すとおりです。

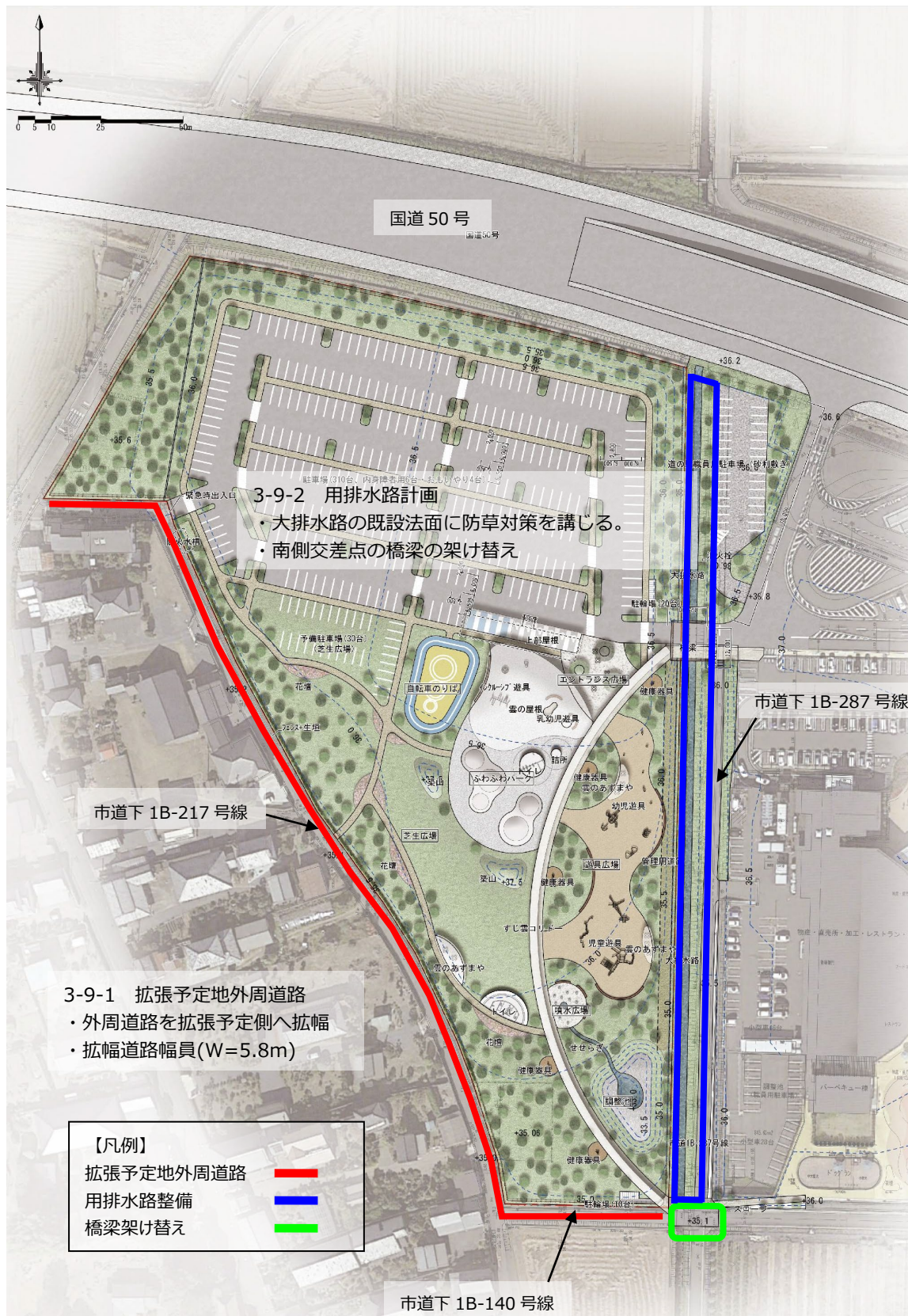


図 - 14 拡張予定地外周道路及び用排水路計画方針図

3-9-3 道路・用排水路廃止

拡張予定地内にある市道下 1B-135 号線および北側の用排水路は、拡張整備に伴い用排水機能が不要となることから用途を廃止し、拡張予定地内南側の用排水路は撤去し拡張予定地外周道路沿いに切り回しを行います。

また、国道 50 号を横断し拡張予定地内西側を流れる現況の用水路(U 型側溝 300×300)については、利用者の安全性を図りながら残置し使用する計画とします。

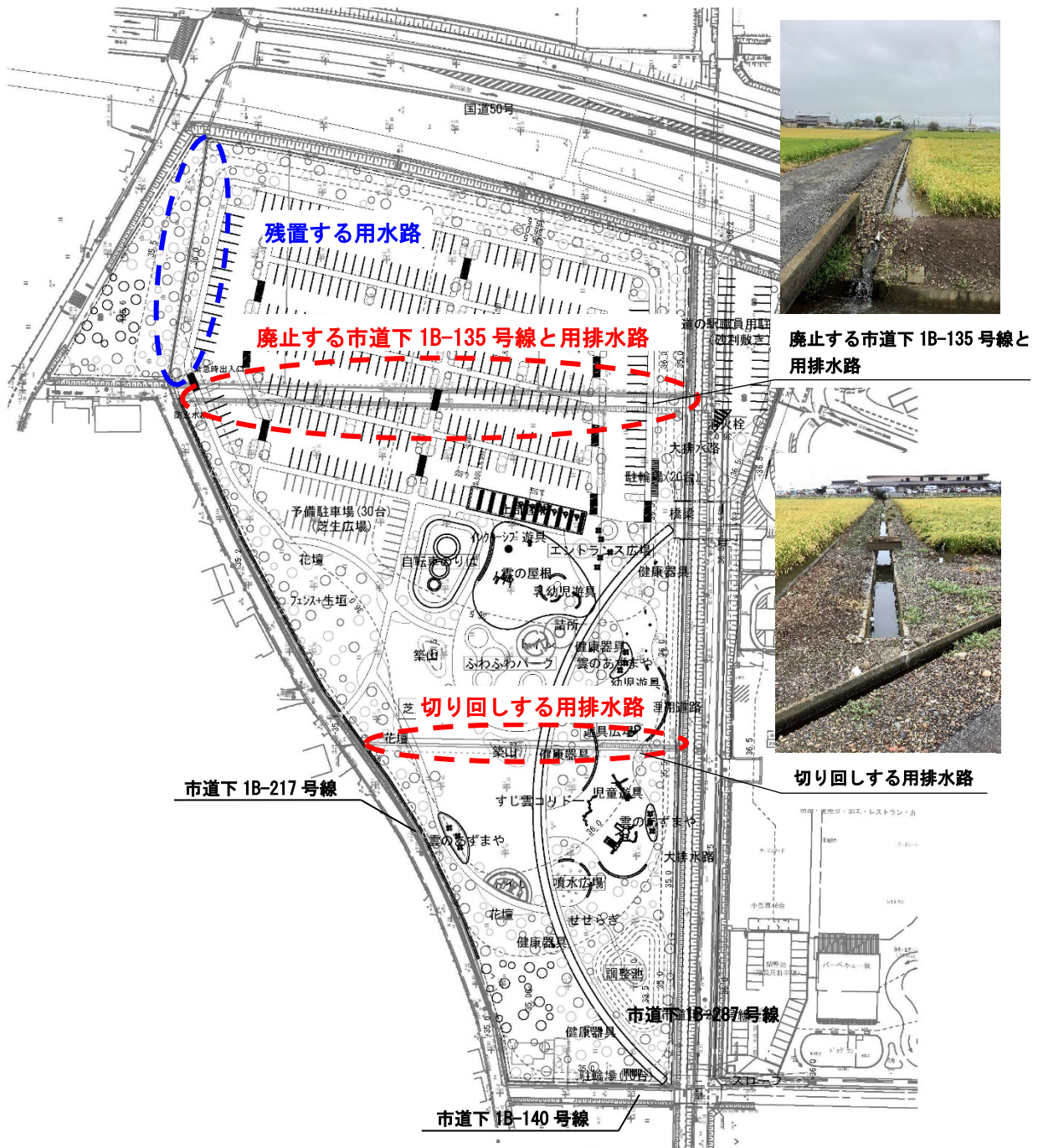


図 - 15 道路および用排水路廃止位置図

3-10 周辺環境対策

拡張予定地の西側は住宅地に面しているため、近隣住民に対する騒音対策やプライバシー保護対策が必要です。

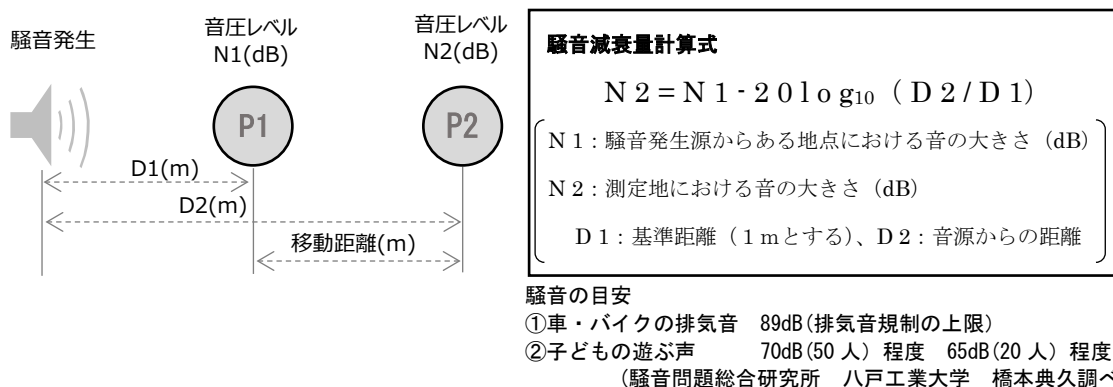
3-10-1 騒音対策

道の駅の拡張に伴い発生が想定される騒音の主な発生源には、以下の2点が考えられます。

- ①車や二輪車のエンジン音・排気音などが発生する駐車場
- ②子どもが遊びまわる際の歓声などが起こりやすい遊具広場

音には、距離に比例して小さくなる距離減衰という性質があるため、音の発生源から十分な距離をとることが騒音対策として有効です。

距離による騒音の減衰量は、次の図式を用いて算出することができます。



この式から、環境省の示す環境基準(住宅地で昼間 55dB・夜間 45dB 以下)を満たすには、駐車場からは 50m、遊具広場からは 10mの距離が必要となります。

駐車場から 50m 離れることで $N2 = 89 - 20 \log_{10} (50/1) \approx 55 \text{dB}$ (減衰量 34dB)

遊具広場から 10m 離れることで $N2 = 70 - 20 \log_{10} (10/1) \approx 50 \text{dB}$ (減衰量 20dB)

よって、この数値をもとに、集落と駐車場や遊具広場との間には十分な距離を保つための緩衝帯として、植栽や芝生広場を設ける計画とします。

3-10-2 プライバシー保護対策

当該住宅地の家屋の多くは、拡張予定地との間を通る道路(市道下 1B-217 号線)に面して出入口を設けているため、拡張予定地側から宅地内が容易に見通せることがないよう、配慮する必要があります。

その対策として、造成した拡張予定地の外周にフェンスを設け、視線対策を施します。また、前述の緩衝帯については遊歩道を外周に近づけすぎない動線計画とすることで、人の流れを敷地外周に向けないように工夫し、近隣住宅地のプライバシー保護に努めます。

周辺環境対策方針は以下の図に示すとおりです。

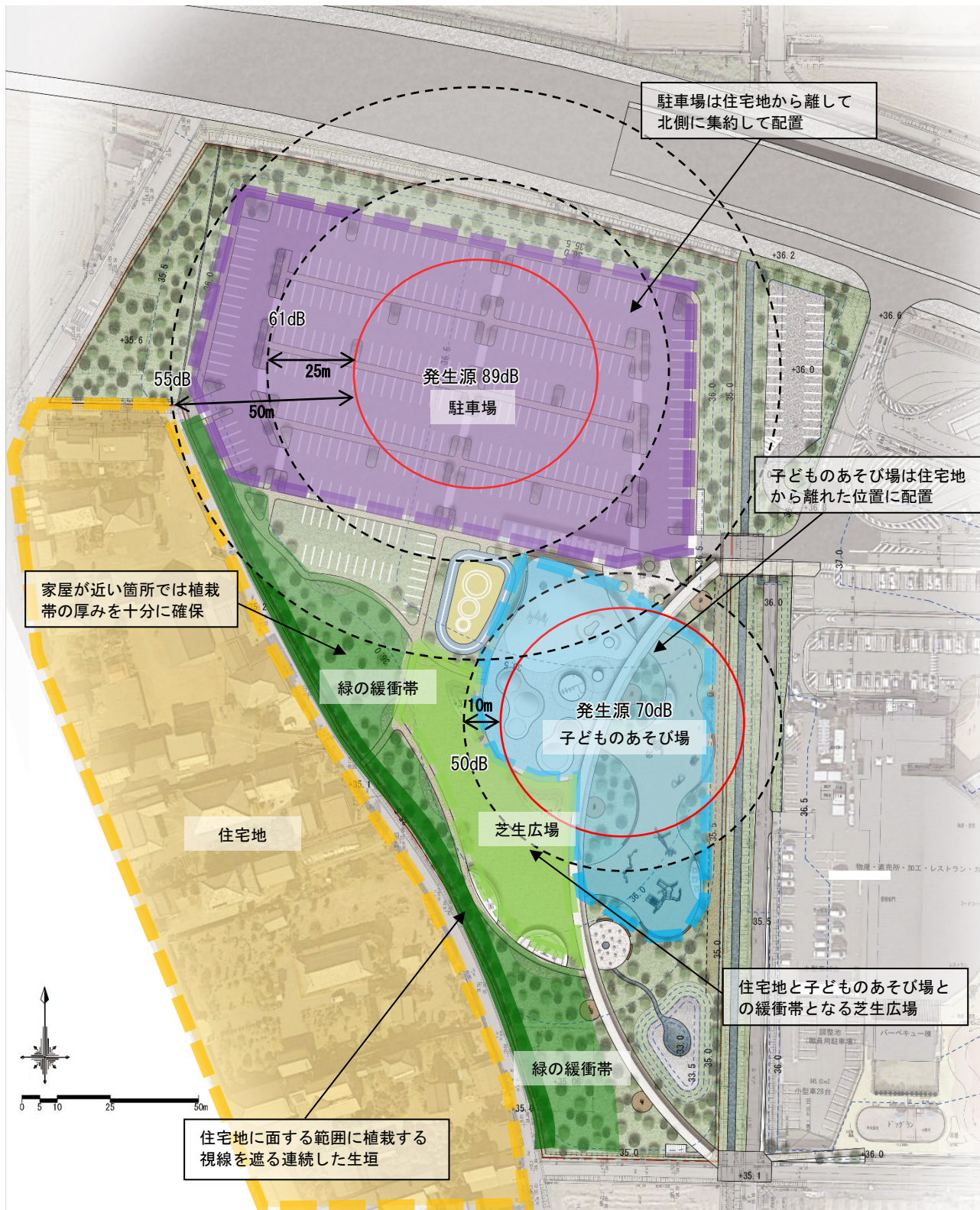


図 - 16 周辺環境対策方針図

4 概算工事費

基本計画における概算工事費を下記のように算出しました。

No.	工事	金額(千円)	備考
1	盛土工事	310,000	盛土、敷均し
2	ふわふわドーム設置工事	53,000	ふわふわドーム2基 その他複合遊具等は別工事
3	噴水広場等工事	40,000	噴水広場、せせらぎ
4	舗装工事	185,000	アスファルト、ゴムチップ
5	休憩施設工事	29,000	テーブル、ベンチ
6	日陰屋根工事	339,000	膜素材の屋根
7	地元生活道路整備工事	80,000	生活道路、橋梁の拡幅
8	安全対策工事	18,000	フェンス、門扉の設置
9	植栽工事	73,000	植木や芝生、花壇
10	水道工事	16,000	給水管、散水栓
11	排水工事	77,000	雨水、汚水排水、調整池
12	電気工事	74,000	照明、高圧線の引き込み
13	屋外トイレ工事	81,000	トイレ棟 2棟
14	その他工事	16,000	構造物の撤去等
直接工事費計		1,391,000	
諸経費		500,000	
消費税		189,100	
合計		2,081,000	

5 事業スケジュール

No.	業務内容	令和5年度				令和6年度				令和7年度				令和8年度		
		4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
1	用地測量	▶														
2	基本構想・基本計画策定	▶ 基本構想	▶ 基本計画													
3	土地評価・不動産鑑定・ 用地補償調査		▶			▶ 時点修正										
4	基本・実施設計				▶											
5	用地取得に向けた各種手続き (事業認定・税務署協議等)					▶										
6	用地交渉					▶										
7	造成工事								▶							
8	遊具設計・設置及び 施設整備工事												▶▶▶			

※今後の事業の進捗状況により、スケジュールが変更となることがあります。

※本計画は、今後基本・実施設計において各施設の規模やデザイン等、概算内容を精査するため、変更となることがあります。

6 策定経緯

期日	事項	内容
令和5年3月26日(日)	稲荷宿自治会説明会	道の駅拡張整備事業の概要説明
令和5年8月7日(月)	道の駅グランテラス筑西拡張整備推進委員会	(1)道の駅グランテラス筑西 拡張整備推進委員会設置要綱の改正について (2)道の駅グランテラス筑西 拡張整備基本構想の報告について
令和5年9月15日(金) ～ 令和5年10月3日(火)	【WEB】 道の駅グランテラス筑西 拡張整備における新・遊具ひろば(仮称)に関するアンケート調査	インターネット上でのアンケート調査 回答数：330名 周知方法：筑西市HP、Facebook、X
令和5年9月24日(日)	【現地】 道の駅グランテラス筑西 拡張整備における新・遊具ひろば(仮称)に関するアンケート調査	道の駅での対面アンケート調査 回答数：53名 対象者：道の駅に滞在中のお子様連れの利用者
令和5年9月29日(金)	インクルーシブ遊具に関する聞き取り調査	対象者：茨城県立下妻特別支援学校
令和5年10月6日(金)	遊具・施設に係る意見交換会	対象者：子育て世代6名(市職員)
令和5年11月5日(日)	稲荷宿自治会説明会	(1)道の駅グランテラス筑西 拡張整備基本計画(案)の経過報告について (2)集落における意見の確認について

7 参考資料

アンケート調査結果（WEB・現地）

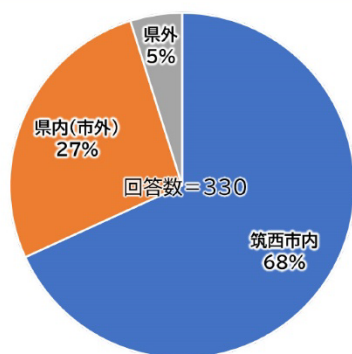
①WEB アンケート調査結果

新・遊具ひろば(仮称)に関するWEBアンケート結果



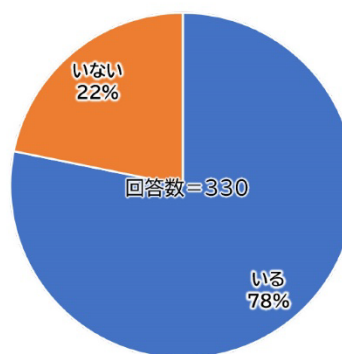
Q1. 現在どちらにお住まいですか

筑西市内	: 225名
茨城県内 (筑西市外)	: 89名
茨城県外 (東京都、千葉県、宮城県、 群馬県、栃木県、香川県)	: 16名



Q2. お子さんはいらっしゃいますか

いる	: 258名
いない	: 72名

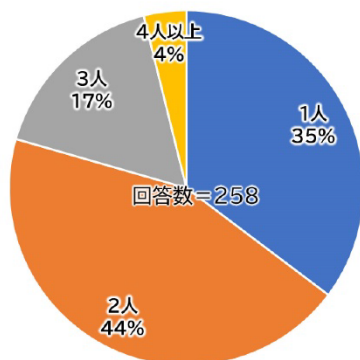


新・遊具ひろば(仮称)に関するWEBアンケート結果



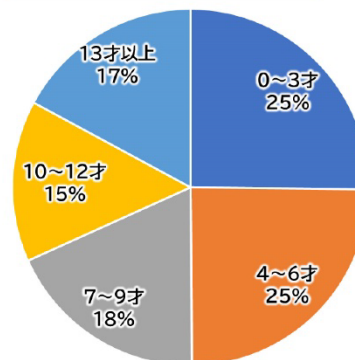
Q3. お子さんは何人いらっしゃいますか

1人	: 91名
2人	: 114名
3人	: 43名
4人以上	: 10名



Q4. 現在のお子さんの年齢を教えてください (複数回答可)

0~3才	: 100名
4~6才	: 98名
7~9才	: 73名
9~12才	: 58名
13才以上	: 68名

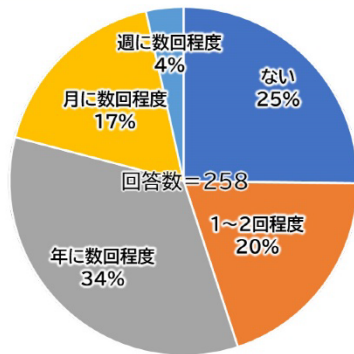


新・遊具ひろば(仮称)に関するWEBアンケート結果



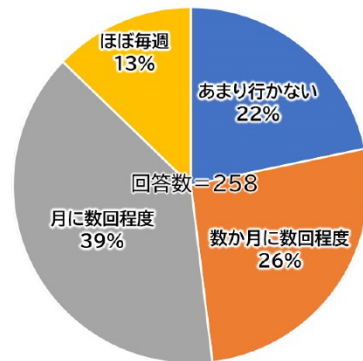
Q5. 道の駅グランテラス筑西の遊具はご利用になったことはございますか。

ない	: 65名
1~2回程度	: 51名
年に数回程度	: 88名
月に数回程度	: 45名
週に数回程度	: 9名



Q6. 公園はよく遊びに行きますか

あまり行かない	: 56名
数か月に数回程度	: 68名
月に数回程度	: 101名
ほぼ毎週	: 33名

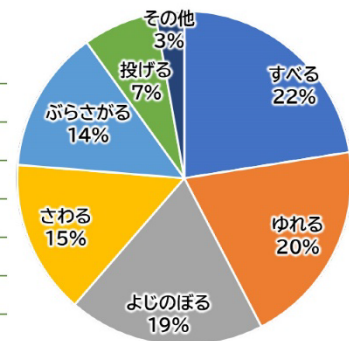


新・遊具ひろば(仮称)に関するWEBアンケート結果



Q7. お子さんの好きな遊びは何ですか (複数回答可)

すべる(すべり台)	: 186名
ゆれる(ブランコ、ロッキング遊具、シーソー)	: 164名
よじのぼる(ジャングルジム、はしご、階段、ボルダリング、ネット遊具)	: 157名
さわる(砂あそび、水遊び、パズル)	: 123名
ぶらさがる(ターザンロープ、うんてい、てつぼう)	: 114名
投げる(ボールやフリスビー)	: 59名
その他(トランポリン、ボール遊び、室内遊び、等)	: 23名



Q8. お子さんと遊びに行く先を決めるときのポイント、あると嬉しい設備を教えてください。

◆遊具のポイント

(年齢層別になっている/充実している/そこにしかない遊具がある/水遊びができる/メンテナンスされている)

◆日陰・屋根で休憩できる

(日陰のベンチやテーブル/自販機/屋内施設)

◆駐車場のポイント

(近い/広い/障がい者用)

◆トイレ・手洗いのポイント

(近い/綺麗/子供用がある/洋式/広い/障がい者用)

◆見守りしやすいポイント

(見通しが良い/授乳・おむつ替えスペースがある)

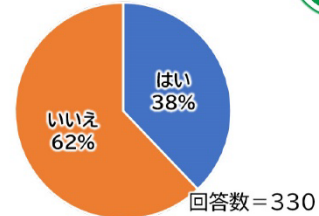


新・遊具ひろば(仮称)に関するWEBアンケート結果



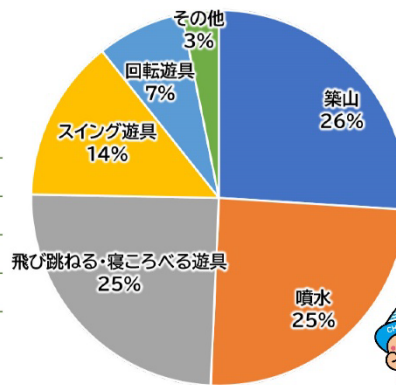
Q9. インクルーシブという言葉をご存じですか。

はい	: 125名
いいえ	: 205名



Q10. 「インクルーシブな遊具」を導入する場合、どのような遊具があると良いですか。(複数回答可)

築山(のぼったり、滑り降りたりする人工の丘)	: 221名
噴水	: 210名
飛び跳ねる・寝転べる遊具	: 209名
スイング遊具(揺らして遊ぶ遊具)	: 119名
回転遊具	: 64名
その他 (怪我の危険性がない 年齢層ごと 車椅子のまま乗ったり 動ける 隠れんぼ出来るようなドーム 何も置かない 等)	: 27名



新・遊具ひろば(仮称)に関するWEBアンケート結果



Q11. 公園などに行った際、利用しにくい・不便だと感じることはありませんでしたら、お聞かせください
(主な件数)

- ◆トイレ・手洗いにに関する不便なポイント(225)
(汚い/遊具や駐車場から遠い/数が少ない/和式で使いづらい/子供用がない/薄暗くて怖い/障がい者用がない)
- ◆日陰・屋根に関する不便なポイント(96)
(日陰や屋根が無く、暑くてベンチで休めない/遊具が熱くて使えない/雨や暑さをしのげない)
- ◆休憩スペースに関する不便なポイント(74)
(ベンチが汚い・少ない/自販機が少ない・遠い/屋根がなく日陰がない中での見守りが辛い)
- ◆遊具に関する不便なポイント(62)
(種類が少ない/汚い・古い/年齢層が分かれていなくて危ない/障がい者が使える遊具がない)
- ◆駐車場に関する不便なポイント(44)
(遊具から遠い/駐車場が少ない/駐車区画がせまい/混んでいる/障がい者用がない)
- ◆管理状態に関する不便なポイント(33)
(毛虫やスズメバチがいて遊べない/蚊などの虫刺され/草が生い茂っている/ペットの糞/砂場が固まっている)
- ◆おむつ替えスペースに関する不便なポイント(19)
(汚い/おむつ替えスペースがない/赤ちゃん用のおむつ替えベッドしかない)



新・遊具ひろば(仮称)に関するWEBアンケート結果



Q12.「新・遊具ひろば」には、どのような遊具・設備があつたらいいと思いますか。

(主な件数)

◆遊具に関すること(116) ◆砂場(7) ◆鉄棒(6) ◆ジャングルジム(4) ◆シーソー(2)
(年齢層別のエリア/大型・複合遊具/大人も・親子で楽しめる/健康遊具/学べる遊具/車椅子でも遊べる遊具)

◆跳ねる遊具(55) ◆滑り台(34) ◆ブランコ(24)
(トランポリン/ふわふわドーム) (長い滑り台/ローラー滑り台) (バケツ型ブランコ/幼児用ブランコ)

◆水遊び(60) ◆アスレチック(53)
(じゃぶじゃぶ池/親子で遊べる小川/プール/噴水) (ネット遊具/築山/ターザンロープ/ハンモック/ボルダリング)

◆日陰空間の休憩スペース(116)
(屋根付き休憩スペース、テーブルやベンチなど/パーゴラ/四阿/植栽による木陰/ベンチや遊具が熱くならない)

◆設備に関すること(35)
(着替えスペース/ユニバーサルベッド/オムツ替えスペース/授乳スペース/自販機/近くの手洗い場)

◆スポーツ(11)
(リップスティック/スケートボード/サッカー/バスケットボール/BMX)

◆広場(12) ◆どうぶつ(5)
(芝生広場/テント広場) (ふれあい広場/ドッグラン)



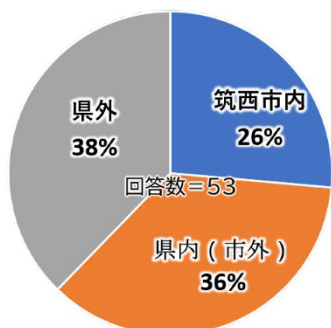
②現地アンケート調査結果

新・遊具ひろば(仮称)に関する現地アンケート結果



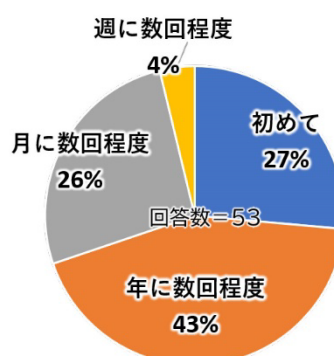
Q1. どちらから来られましたか

筑西市内	: 14名
茨城県内 (筑西市外)	: 19名
茨城県外 (栃木県、埼玉県、千葉県、 東京都)	: 20名



Q2. 道の駅グランテラス筑西の遊具をお使いになる頻度はどれくらいですか。

初めて	: 14名
年に数回程度	: 23名
月に数回程度	: 14名
週に数回程度	: 2名

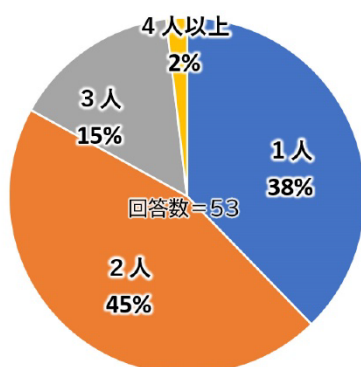


新・遊具ひろば(仮称)に関する現地アンケート結果



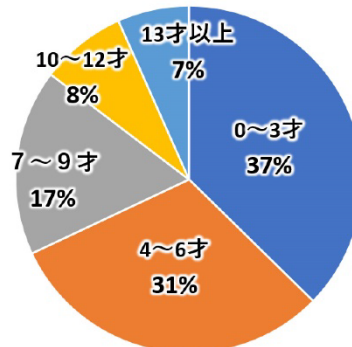
Q3. お子さんは何人いらっしゃいますか

1人	: 20名
2人	: 24名
3人	: 8名
4人以上	: 1名



Q4. 現在のお子さんの年齢を教えてください

0~3才	: 28名 (複数回答可)
4~6才	: 23名
7~9才	: 13名
9~12才	: 6名
13才以上	: 5名

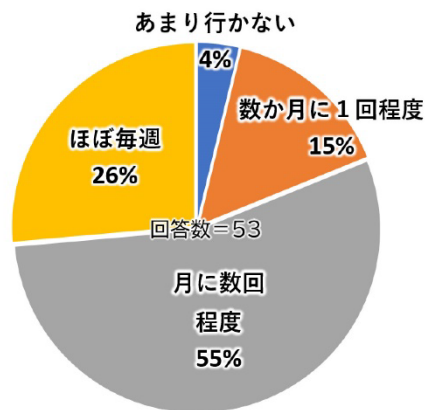


新・遊具ひろば(仮称)に関する現地アンケート結果



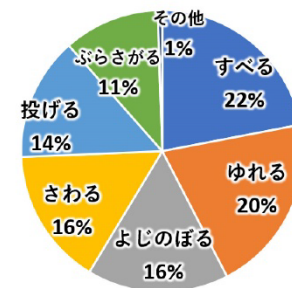
Q5. 公園にはよく遊びに行きますか

あまり行かない	: 2名
数か月に数回程度	: 8名
月に数回程度	: 29名
ほぼ毎週	: 14名



Q6. お子さんの好きな遊びは何ですか (複数回答可)

すべる(すべり台、そり遊びなど)	: 42名
ゆれる(ブランコ、ロッキング遊具、シーソーなど)	: 39名
よじのぼる(ジャングルジム、はしご、階段、ボルダリング、ネット遊具など)	: 31名
さわる(砂あそび、水遊び、パズル遊びなど)	: 30名
投げる(ボールやフリスビーなど)	: 27名
ぶらさがる(ターザンロープ、うんてい、鉄棒など)	: 21名
その他(トランポリン)	: 1名



新・遊具ひろば(仮称)に関する現地アンケート結果



Q7. 「新・遊具ひろば」には、どのような遊具・設備があったらいいと思いますか。

【遊具について】

- ◆跳ねる遊具(14)
(トランポリン ふわふわドーム)
- ◆ブランコ(10)
(幼児用のカゴシートがあるブランコ4)
- ◆水遊び場、じゃぶじゃぶ池(10)
- ◆滑り台(8)
(長い滑り台 ローラー滑り台
小さい子と一緒に滑れるもの2、幼児用2)
- ◆年齢層別の遊具(7)
(乳幼児向けの遊具3 小学生も遊べる遊具)
- ◆ターザンロープ(3)
- ◆自転車遊びできる場所(2)
- ◆親子と一緒に遊べるもの(2)
- ◆回転遊具、のぼり棒、跳び箱
ネットのついた大型遊具
安全な遊具

【設備等について】

- ◆日陰・クーリングスポット(7)
(日陰のあるベンチ3 日陰のイス・テーブル
近くに日陰があって、子どもの遊んでいる所を見守れる
日陰もある遊具)
- ◆バスケットコート(ハーフ)
- ◆ボルダリング
- ◆ボール遊びができる広いスペース
- ◆芝生
- ◆囲いのあるスペース
- ◆生き物がいる場所
- ◆きれいな授乳室、おむつ替えスペース

(主な件数)

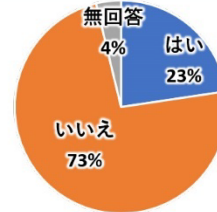


新・遊具ひろば(仮称)に関する現地アンケート結果



Q8. インクルーシブという言葉をご存じですか。

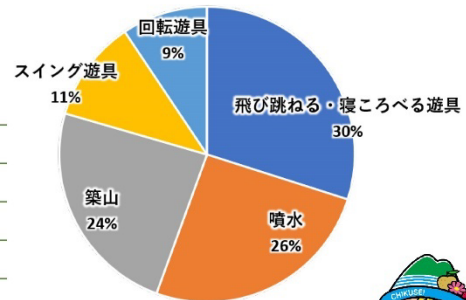
はい	:	12名
いいえ	:	39名
無回答	:	2名



回答数=53

Q9. 「インクルーシブな遊具」を導入する場合、
どのような遊具があると良いですか。
(複数回答可)

飛び跳ねる・寝転べる遊具	:	35名
噴水	:	30名
築山(のぼったり、滑り降りたりする人工の丘)	:	28名
スイング遊具(揺らして遊ぶ遊具)	:	13名
回転遊具	:	11名
その他	:	0名



新・遊具ひろば(仮称)に関する現地アンケート結果



Q10. 公園などに行った際、利用しにくい・不便だと感じることはありませんか、
お聞かせください

(主な件数)

- ◆トイレ・手洗いに関すること (18)
(子ども用トイレ・便座がない6 個室が狭い5 数が少ない3 汚い4 場所が遠い2 和式しかない暗い 手洗い場が高い)
- ◆日陰・屋根に関すること (16)
(日陰が無く暑さをしのげる場所がない日陰がなく風が強い)
- ◆ベンチ・イスに関すること (5)
(ベンチ・イスが無い・少ない ベンチに日除けがないベンチの高さが高い)
- ◆遊具に関すること (2) ◆駐車場に関すること (2)
(種類が少ない) (駐車場までの距離が遠い)
- ◆休憩スペースに関すること (2)
(休憩スペースがない 数が少ない)
- ◆設備に関すること
(ご飯を食べるところがない 着替えられるスペースがない 雨の翌日、土に滑って泥だらけになる 授乳室が無い、汚い 手洗い用水道が無い 手洗い用水道の位置が高くて洗にくい)



新・遊具ひろば(仮称)に関する現地アンケート結果



Q11. お子さんと遊びに行く先を決めるときのポイント、あると嬉しい設備を教えてください。 (主な件数)

- ◆駐車場のポイント (13)
(広い 駐輪場 駐車場と遊ぶ場所が近い)
- ◆日陰・屋根がある (11)
(暑さ・雨風がしのげる)
- ◆休憩スペースのポイント (10)
(屋根付きの休憩スペースがある ベンチや休憩スペースがたくさんある)
- ◆売店や自動販売機のポイント (7)
(自動販売機がある 軽食等がとれる場所 ランチできるカフェのようなものを併設 食べ物、スイーツ、お土産などで大人も楽しめる)
- ◆トイレ・手洗いのポイント (7)
(トイレや手洗い場の多さ キレイ 子ども用トイレがある)
- ◆見守りしやすいポイント (7)
(堀がある 見通しが良い 授乳・おむつ替えスペース 調乳用の給湯スペース)
- ◆遊具のポイント (7)
(子どもが楽しめるものがある 年齢層別に分かれている 幼児が安全に遊べる 乗れる遊具 大きな船型の遊具)
- ◆その他のポイント
(清潔さ、雑草が少なく虫に刺されない 芝生がきれい あまり混んでいなさそうな所 水遊びできる場所 小動物と触れあれる お風呂が近くにある 天気を気にしない)



8

新・遊具ひろば(仮称)に関する現地アンケート結果



Q12. 今まで行った公園等で、良かった遊具・設備などがあれば教えてください (主な件数)

【遊具】

- ・長いすべり台 (5)
- ・ターザンロープ (4)
- ・トランポリン (4)
- ・水遊びできる場所 (3)
- ・ブランコ (3)
- ・年齢層に分かれている遊具
- ・砂場
- ・柔らかい丘のような遊具
- ・大型遊具
- ・鉄道

【設備】

- ・ボールプール
- ・キャンプ場
- ・日帰り温泉
- ・小さな水族館などの、屋根付きの遊び場
- ・室内遊具や室内の遊び場
- ・雨でも楽しめるところ
- ・トイレが大きいところ

【良かった施設】

- 壬生総合公園(壬生町) おもちゃ博物館(壬生町) 天平の丘公園(下野市)
- 真岡ハイトラ運動公園/いちご公園(真岡市) 結城下り松中央公園(結城市)
- ヒロサワ県西総合公園(筑西市) 笠間



9

道の駅グランテラス筑西拡張整備推進委員会設置要綱

(設置)

第1条 道の駅グランテラス筑西（以下「道の駅」という。）における駐車場不足に関する課題（国土交通省が暫定的に臨時駐車場として使用を認めてきた国道用地使用許可の取得継続困難、大型車用駐車スペースへの普通車両駐車の状態化など）に対し、道の駅の拡張整備及び有効活用に向けた調査・協議を行い、拡張整備を推進するため、道の駅グランテラス筑西拡張整備推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について調査・協議し、その結果を市長に報告する。

- (1) 道の駅の拡張整備及び有効活用に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか市長が必要と認めること。

(組織)

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

- 2 委員長は副市長、副委員長には土木部長の職にある者をもって充てる。
- 3 委員は、別表第1に規定する職にある者をもって充てる。

(委員長及び副委員長の職務)

第4条 委員長は、委員会の会務を総理する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じて委員長が招集し、会議の議長となる。

- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(ワーキングチーム)

第6条 委員会に、委員会の能率的運営を図るため、ワーキングチームを置く。

- 2 ワーキングチームのメンバーは、別表第2に規定する職にある者をもって充てる。
- 3 ワーキングチームにリーダー及びサブリーダーを置き、委員長が指名する者をもって充てる。
- 4 ワーキングチームは、委員会が指示する事項について調査・協議を行い、その経過及び結果について委員会に報告し、必要な指示を受けるものとする。
- 5 ワーキングチームの運営等については、委員会の例による。

(庶務)

第7条 委員会及びワーキングチームの庶務は、土木部道の駅拡張整備推進課において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか委員会及びワーキングチームの運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、この要綱の決裁の日から施行する。(令和4年5月9日)

附 則

この要綱は、この要綱の決裁の日から施行する。(令和5年6月6日)

別表第1 (第3条関係)

企画部次長
財務部次長
経済部次長
土木部次長
上下水道部次長
その他委員長が必要と認める者

(注) 2人以上の次長を置く部にあつては、委員長が指名する者とする。

別表第2 (第6条関係)

企画部 企画課長
企画部 地方創生課長
財務部 財政課長
経済部 観光振興課長
経済部 農政課長
経済部 ふるさと整備課長
土木部 土木課長
土木部 道路維持課長
土木部 建築課長
土木部 都市整備課長
土木部 道の駅拡張整備推進課長
土木部 宅地開発課長
上下水道部 下水道課長
上下水道部 水道課長
農業委員会事務局 農地調整課長
その他委員長が必要と認める者



筑西市

CITY OF CHIKUSEI

道の駅グランテラス筑西 拡張整備 基本計画

令和6年1月

筑西市
(土木部 道の駅拡張整備推進課)

〒308-8616
茨城県筑西市丙 360 番地
TEL: 0296-24-2111 (代表)
<http://www.city.chikusei.lg.jp/>

